

平成30年度  
「スポーツクラブ21ひょうご」  
芦屋市推進委員会

資 料

日時：平成30年8月30日（木）15：00～  
会場：芦屋市立体育館・青少年センター3階  
第2研修室

## 平成29年度 決算書・事業報告書

1. 平成29年度決算書（9クラブ分）
2. 平成29年度事業報告書（9クラブ分）

## 収支決算書

# 三条

# SC21

1 収入の部 クラブ名 (三条スポーツクラブ21)

科 目	決 算 額	摘 要
基金 助成金	( 1,720,938 円 ) 1,720,938 円	前年度より繰越
自 自主財源	( 585,569 ) 585,569	前年度より繰越
主 会費	( 50,000 ) 34,300	100円×343人
財 雑収入	( 10,000 ) 0	秋のお楽しみ会、印刷機年間使用料等
源 利息	( 100 ) 21	基金通帳利息16円、自主財源利息5円
計	( 2,366,607 ) 2,340,828	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
基金 金	運営拠点整備費 ( 50,000 円 ) 0 円	
	スポーツ用品購入費 ( 50,000 ) 21,330	ラインパウダー
	運営費 ( 150,000 ) 81,737	夏の夜のつどい、運動会他
	管理費 ( 5,000 ) 1,111	クラブハウス電気代
	事務・消耗品費 ( 45,000 ) 25,605	用紙、インク代他
	次年度に繰越 ( 1,420,938 ) 1,591,155	
自 主 財 源	運営費 ( 40,000 ) 0	総会茶菓子代
	保険料 ( 20,000 ) 4,216	1日保険料 (卓球に挑戦、会下山ウォーク)
	分担金 ( 1,000 ) 1,000	スポーツ21連絡協議会29年度会費
	次年度に繰越 ( 584,669 ) 614,674	
計	( 2,366,607 ) 2,340,828	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
・申請内容を上段に ( ) 書き、実績を下段に記入する。

### 三条スポーツクラブ21 平成29年度 事業実績書

- 1 指定小学校区 芦屋市三条コミュニティスクール地域（旧芦屋市立三条小学校区） 約3,600世帯 約8,500名
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所 芦屋市立山手中学校第2グラウンド内(旧三条小学校敷地)29年7月まで → 三条分室2階コミスク室
- 3 スポーツ活動を行った施設名 芦屋市立山手中学校第2グラウンド(29年7月まで) → 山手中学校第1グラウンド  
山手中学校第2体育館
- 4 上記施設以外に連携した施設名 芦屋市立三条地区集会所
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

運営委員長	1名	} 役員会	} 推進委員会	} 運営委員会	} 総会
推進委員長	2名				
会計	2名				
推進委員	25名				
会計監査	2名				
運営委員	80名				
三条スポーツクラブ21会員	340名				

- 6 クラブ設立年月日  
昭和53年9月 三条コミュニティスクール発足  
平成13年3月 三条スポーツクラブ21設立

#### 7 運営委員会等の開催と協賛内容

委員委嘱数	開催回数	1回当たり出席者数	開催場所	備考
80名	3回（約2時間）	60名	コミスクプレイルーム	運営委員会
25名	11回（約2時間）	15名	コミスク会議室	推進委員会

年間事業計画、事業企画・推進、行事実行委員会、予算、スポーツ保険推進、会員募集、施設利用日程調整等

#### 8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	会員数(性別、年齢構成)			活動種目
	340人	男144(人)	女196(人)	
三条スポーツクラブ21	～10歳	73	72	・少年野球 ・バレーボール・健康体操 ・卓球・硬式テニス
	～20歳	28	21	
	～30歳	5	5	
	～40歳	11	10	・公式フナゲ ・ウォーキング ・ラジオ体操 ・盆おどり
	～50歳	5	3	
	～60歳	10	20	
	61歳以上	12	65	

#### 9 配置した指導者の資格名と資格別人数

スポーツ推進委員(日本体育協会スポーツリーダー、体力測定判定員等)2名、兵庫県軟式少年野球審判員6名、  
スポーツ指導員(健康体操)・中学校保健体育教諭資格1名

#### 10 実施した事業内容

実施事業者名	ねらい等	回数、日数	対象者	参加人数(人)	開催施設
少年野球	定期的練習	毎週 土・日	三条スポーツ クラブ21会員	36	第1グラウンド
卓球	及び	毎週 土曜日		23	第2体育館
健康体操	スポーツの普及	月3回 水曜日		26	三条地区集会所
硬式テニス	(生涯スポーツの普及)	月1～2回 日曜		20	第1グラウンド
バレーボール	及び	毎週 土曜日		18	第2体育館
卓球に挑戦!	スポーツチャレンジ	6/17	スポーツ21 クラブ会員 及び 地域住民	30	第2体育館
公式フナゲに挑戦!		2/17		15	三条地区集会所
ラジオ体操	地域交流 多世代交流	7/24～8/26		延べ2,500	地域内4会場
民謡踊り		8/16 8/22		30 / 37	三条地区集会所
第38回運動会		11/19		250	第1グラウンド
初日の出ウォーキング		1/1		50	地域内
広報活動	活動報告・部員募集	年2回	コミスク合同展、山手小学校展覧会併設コミスク活動展		
	行事告知・活動報告	年2回	広報紙 地域配布	3,200世帯	

# S C 2 1 潮見

別記(準用)

## 平成29年度収支決算書

### 1 収入の部

クラブ名 ( スポーツクラブ21潮見 )

科 目	決 算 額	摘 要
助成金	( 2,080,167 円 ) 2,080,167 円	市推進委員会事務局より (前年度繰越金)
クラブ財源金	( 1,589,580 ) 1,589,580	クラブ自主財源 (前年度繰越金)
年会費	( 87,500 ) 96,750	年会費 (自主財源)
イベント参加費	( 30,000 ) 18,650	行事参加費 (自主財源)
雑収入	( 50,000 ) 62,344	事業収益金 (自主財源)
利息	( 100 ) 28	銀行利息 (自主財源) 基金及びクラブ
計	( 3,837,347 ) 3,847,519	(左記金額内の自主財源1,767,352円)

### 2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運動拠点整備費	( 300,000 円 ) 22,234	管理備品 (クラブ備品・事務室備品) 13,000 会議用上履き 9,234 (自主)
消耗品費	( 50,000 ) 0	
諸謝金	( 30,000 ) 20,000	防災関連事業謝金 20,000
事業費	( 80,000 ) 47,064	地域スポーツ参加費用 10,000 夏祭り備品・飲料 11,254 (自主) 健康フェスタ12,460 (自主) オープンスクール事業費 13,330
雑費	( 10,000 ) 30,000	見舞金・祝金3件 30,000 (自主)
通信運搬費	( 40,000 ) 36,000	役員通信運搬費 36,000
会議費	( 10,000 ) 13,500	祝賀会13,500 (自主)
保険料	( 20,000 ) 14,500	オープンスクール保険料 14,500
基金	( 1,580,167 ) 1,973,337	平成30年度へ繰越金
クラブ積立金	( 1,717,180 ) 1,690,884	平成30年度へ繰越金
計	( 3,837,347 ) 3,847,519	

平成 年 月 日 会計監査

印

会計監査

印

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
・申請内容を上段に ( ) 書き、実績を下段に記入する。

# 事業報告書(29年度)

## 1. 指定小学校区とその概要(芦屋市立潮見小学校区)

当校区は、兵庫県企業庁が昭和50年代はじめに芦屋浜を埋め立て、開発した「芦屋浜シーサイドタウン」の宮川以西及び南芦屋浜の新興住宅地である。

高層住宅、中層住宅、低層連続住宅、独立住宅が昭和54年から入居以来関係住民が積極的に活動し、加えて昭和56年にコミュニティ・スクールが設置されスポーツや文化活動を通じて比較的まとまりのある校区である。

また、阪神淡路大震災のあと南芦屋浜地区に復興住宅が大量に建設され新たな住民の増加と独立住宅も多数建設され、新たなコミュニティづくりに苦慮しているところもある。

また、少子化と生活環境の多様化など、余暇を利用してのスポーツや地域行事に参加する人口が減少しているが、既存のスポーツクラブにおいては指導者や保護者の協力のもとに、青少年の育成と体力の向上を目的に地域に根ざした活動を活発に行っている。

## 2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所(連絡先[TEL, FAX])

芦屋市立潮見小学校 南校舎 3階  
芦屋市潮見町1番2号

## 3. スポーツ活動を行う施設名とその概要

小学校 グラウンド及び体育館

## 4. 上記施設以外の他の連携する施設名 該当なし

## 5. 運営委員会の構成員とクラブ運営組織図及びクラブ設立年月日

平成13年6月3日(クラブ設立年月日)

## 6. クラブ設立までの経緯

実施時期	事項	内容
平成12年 9月	準備幹事会	スポーツクラブ21の趣旨確認
平成12年11月	"	参加意思の確認
平成13年 1月		
平成13年 4月23日	準備幹事会	会則・事業計画・予算最終原案
平成13年 5月	準備幹事会	会則・事業計画・予算原案作成 設立総会の準備・年間計画の調整
平成13年 6月3日	設立総会	会則の承認・役員選出 事業計画の承認・予算の承認

## 7. 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数 (時間数)	1回当たりの 出席者数	開催場所	備考
25名	10回 (毎1.5h)	25名	潮見小2F SC21会議室	運営委員会及び 事業準備委員会
1. クラブ活動報告		2. 事業内容の打合わせ		
3. 広報活動について		4. 連絡調整等		
年次総会 29年5月25日(木)開催 潮見小SC21会議室 新田委員40名				

## 8. クラブ名等

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	種目名
シーサイド若葉	18~60歳(男子) 21名	野球
潮見スターズ	6~12(男女) 20	少年野球
" 指導者	20~60(男) 10	
たんぽぽ	40~70(男女) 10	卓球
潮見ミニバスケット教室	7~12(男女) 30	バスケット
" 指導者	30~60(男女) 4	"
シーサイドバスケット	20~60(女子) 12	"
潮見少年サッカークラブ	5~12(男子) 41	サッカー
" 指導者	20~60(男子) 11	"
潮見フットサルクラブ	20~30(男子) 6	"
空手クラブ	5~60(男女) 11	空手
潮見バドミントンクラブ	20~60(男女) 14	バドミントン
スポンジボールテニス潮見	20~75(男女) 19	クォーターテニス
潮見健康体操倶楽部	体部中	
アップル(Jr.英会話)	体部中	英会話と遊び
金管バンド	10~12(男女) 25	金管楽器演奏
" 指導者	(女子) 1	
和太鼓あしかげ	40~80(男女) 16	和太鼓演奏
" 指導者	60(男子) 1	

合計252名

## 9. 配属した指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格名	資格別人数
バスケット	兵庫県家庭婦人公認審判員	1名
サッカー	日本サッカー協会C級指導員	3名
"	" 10級指導員	2名
"	" 4級審判資格	5名
"	" 3級審判資格	2名
フットサル	フットサル審判4級	4名
空手	全日本空手道連盟6段	1名
こくさいひろば芦屋	教員免許	9名
少年野球	県軟式野球連盟 公認審判員	2名
"	県軟式少年野球協会A級ライセンス	6名

10. 実施した事業内容（事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。）

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏休みラジオ体操	体力づくりと地域交流	29年7月21日 ～7月31日	地域住民 (子ども ～大人)	延 250名	潮見小学校 グラウンド
ニューススポーツ &餅つき大会 (11.17日開催)	上記と同じ目的	1回 (30.2.4)	地域住民 (大人～ 子供)	400名	潮見小学校 グラウンド
広報活動	クラブ活動と各事業への 参加を呼びかけるポスター・チラシを配布。 広報誌	年間 4回  1回	地域内		
《その他の活動》  ドラゴンボートレ ース大会参加  スポーツフェスティ バルへの参加	各種スポーツ大会へ参 加し、他団体との交流  芦屋浜健康フェスタ協力 (体力テスト協力)	29年 7月30日  29年10月15日	大人・ 青少年  地域住民 大人から 子ども	2チーム  400名	芦屋浜水 路  潮見中 グラウン ド
《オープンスクール》  少年サッカー 少年男子球 金管バンド ミニバスケット	経団連による 地域でのスポーツ活性化 及び会員増強の為に実施	4月 4月 5月 11月	地域の 子ども	多数参加	潮見小 体育館 グラウン ド 音楽室

以 上

平成29年度 会計収支決算書  
 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(スポーツクラブ21宮川)

SC21  
 宮川

収入の部 [(予算額)単位:円]

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	( 178,831) 178,831	
会費	( 170,000) 177,000	177名×1000円
備品・機材貸出料	( 10,000) 9,000	照明・音響代
雑収入	( 20,000) 23,922	印刷代
利息	( - ) 2	
合計	( 378,831) 388,555	

支出の部 [(予算額)単位:円]

項目	決算額	摘要
会議・事務費	( 20,000) 15,153	マスター・インク代
拠点整備費	( 20,000) 8,910	体育館用モップ・鏡代
広報誌作成費	( 10,000) 10,000	印刷代
夏祭り費	( 20,000) 13,000	保険料・ゴミ処理代
スポーツフェスティバル費	( 80,000) 78,291	保険料・競技用賞品代
文化祭費	( 10,000) 7,200	保険料
臨時事業費	( 10,000) 5,560	スポーツチャレンジ賞品代
対外活動費	( 10,000) 0	
雑費	( 10,000) 0	
修繕・維持費	( 160,000) 119,391	ネット・ゴール修理・ボール・ロッカー代
予備費	( 28,631) 0	
繰越金	( - ) 131,050	次期繰越
合計	( 378,831) 388,555	



# 事業報告書

## 1 指定小学校区とその概要

### 「芦屋市立宮川小学校区」

芦屋市立宮川小学校は本年で創立91周年を迎える伝統ある小学校である。その故に小学校区内の住民は宮川小学校の卒業生が多く、小学校に対する親しみも強く、また、古くから住んでいる人達が多く地域の連帯感がある。小学校区内の7つの町の自治会町内会も活性化しており、30年以上の歴史を持つコミュニティ・スクールへの参加率も高く各種の活動が活性化している地域である。  
地域的に利点があるのは小学校が小学校区の真中にあり、人々が集まりやすい事がある。

## 2 活動拠点となったクラブハウスの設置場所

### 「芦屋市立宮川小学校グラウンド南プール棟1階」

宮川小学校グラウンド南プール棟の1階は宮川コミュニティ・スクールのフロアとして使用しているのでその一室を改造して「スポーツクラブ21 宮川」のクラブハウスとして使用する。

## 3 スポーツ活動を行なった施設名とその概要

小学校体育館・グラウンド・コミスクフロアー

## 4 上記施設以外の他の連携する施設名

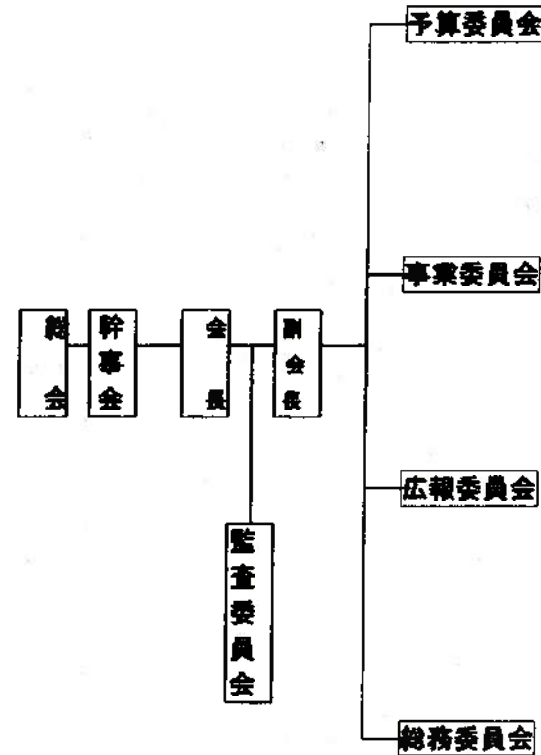
該当なし

## 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要

会長	1名
副会長	2名
役員	8名
幹事	8名



スポーツクラブ 21 宮川  
幹事会



## 6 クラブ設立までの経緯

実施日	事項	内容
平成13年6月16日	設立準備委員会発足	委員を選出及び概略説明
平成13年7月14日	スポーツ指導者公聴会	各クラブの現状把握及び希望聴取
平成13年7月21日	設立準備委員会	規約・予算他の草案作成
平成13年8月22日	事務局会議	各種打合せ
平成13年9月22日	設立準備委員会	規約・予算・組織他の最終案決定
平成13年10月20日	事務局会議	総会準備
平成13年10月27日	設立総会	

## 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回当たり出席者数	開催場所
19名	11回	平均15名	宮川コミスク会議室
事業の企画立案・予算処置・企画実施打ち合わせ			

## 8 クラブ会員数（性別・年齢構成）及活動種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	活動種目
宮川少年サッカースクール	60名(小学生 男子60名)	サッカー
宮川ミニバドミントンクラブ	20名(小学生 女子18名 男子2名)	バドミントン
宮川バドミントン同好会	8名(15歳以上 女子8名)	バドミントン
宮川クラブ	10名(成人 女子10名)	バレーボール
ソフトバレーボールクラブ	13名(成人 女子13名)	ソフトバレーボール
宮川少年野球団	14名(小学生 男子14名)	野球
宮川ミニバスケットボール	19名(小学生 男子19名)	バスケットボール
宮川空手道教室	33名(成人5名 小学生28名)	空手
8団体	177名	

## 9 配置した指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格	資格別人数
サッカー	地域有志	8名
野球	公認審判員	4名
	地域有志	8名
バスケット	公認審判員	3名
	地域有志	2名
バドミントン	日本体育協会・指導員	2名
	公認審判員	3名

## 10 実施した事業内容

実施事業名	ねらい等	回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏祭り	地域活性化	1回	地域全員	約750名	体育館 他
各クラブ活動	専門種目の個別活動	週 1~2回	各会員	177名	全施設

# SC21 YAMATE

別記(準用)

## 収支決算書

### 1 収入の部

クラブ名 (スポーツクラブ21YAMATE)

科目	決算額	摘要
基金	(2,513,472) 2,513,472	
自主財源額	(4,733,916) 4,733,916	
会費	(200,000) 226,000	年会費 500円×452人
運営拠点維持費	(35,000) 30,300	100円×303人
参加費・事業費	(200,000) 226,100	プール講習会 220,500円 フェスタ カレー代 5,600円
利息	(112) 61	自主財源 ①基金通帳利息 14円 ②クラブ通帳基金 47円
計	(7,682,500) 7,729,849	

### 2 支出の部

科目	決算額	摘要
運営拠点整備費	(100,000) 2,270	管理備品費
スポーツ用品購入費	(250,000) 4,320	各種スポーツ用品購入費 修理費
報奨費	(200,000) 140,000	指導者 謝礼金・交通費等
運営費	(200,000) 62,331	イベント開催費用
傷害保険料 (役員・各種行事)	(17,000) 17,748	スポーツ保険
消耗品費	(100,000) 17,470	事務用品消耗品費等
会費	(10,000) 1,000	スポーツクラブ21 戸屋連絡協議会会費
クラブハウス維持費	(25,000) 16,470	光熱費・電話代等
使用料・賃貸料	(20,000) 0	
通信運搬費	(10,000) 82	会員連絡送料
印刷製本費	(100,000) 35,296	広報紙・HP管理費
基金	(1,481,472) 2,216,485	
自主財源	(5,169,028) 5,216,377	
計	(7,682,500) 7,729,849	

(注)・収支の計はそれぞれ一致する。・申請内容を上段に( )書き、実績を下段に記入する。

## 事業実績書

1. 芦屋市立山手小学校
2. 芦屋市立山手小学校 西棟3F
3. 小学校運動場・体育館・プール
4. 芦屋市大原町大原集会所
5. 総会資料添付
6. 2000年10月 地域住民にPR  
2001年11月26日 設立
7. 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数(時間数)	1回あたりの出席者数	開催場所	備考
40人	11回(11×1時間)	30~35人	クラブハウス	
(委員会の主な内容)				

月日	内 容
H29年 5-10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第17回総会 引き継ぎ役員会にて年間行事について検討</li> <li>・ 各クラブの報告および行事予定 ドッジボール大会準備</li> </ul>
6.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月27日開催 ドッジボール大会の反省</li> <li>・ 7月24~28日 水泳講習会について講師と打ち合わせ</li> <li>・ 各クラブの報告および行事予定</li> </ul>
7-12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月24~28日 水泳講習会 参加者予定 90人</li> <li>・ 8.19 サリュ!ペタンク オープン大会 打ち合わせ(会場の芦屋学園高校に依頼)</li> <li>・ 各クラブの報告および行事予定</li> </ul>
9-13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「水泳講習会」の反省</li> <li>・ 「サリュ!ペタンク オープン大会」の反省</li> <li>・ 10月9日「市民スポーツフェスタ」(芦屋市スポーツ推進委員会:主催) 参加クラブ募集→エントリークラブなし</li> <li>・ 各クラブの報告および行事予定</li> </ul>
10-11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月29日「みんなで遊ぼう~卓球大会~」の打ち合わせ</li> <li>・ 各クラブの報告および行事予定</li> </ul>
11-8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卓球大会の準備</li> <li>・ 各クラブの報告および行事予定</li> <li>・ 12月9日 山手コミスク主催「餅もちフェスティバル」に協力の打ち合わせ</li> </ul>
12-8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「餅もちフェスティバル」最終打ち合わせ</li> <li>・ 各クラブの報告および行事予定</li> </ul>
H30年 1-10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「餅もちフェスティバル」反省&amp;申し送り事項</li> <li>・ 広報紙掲載原稿を各クラブに依頼</li> <li>・ 各クラブの報告および行事予定</li> </ul>
2-7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各クラブの報告および行事予定 カローリング大会の準備</li> <li>・ 2月28日 カローリング大会</li> </ul>
3-13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新年度にむけて各クラブ委員の依頼</li> <li>・ 4月21日「YAMATE フェスタ」について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各クラブの報告および行事予定</li> </ul>
4-17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新旧委員の引き継ぎ</li> <li>・ 4月15日「YAMATE フェスタ」について 炊き出し打ち合わせ</li> <li>・ 各クラブの行事予定</li> <li>・ 総会に向けて 打ち合わせ</li> </ul>

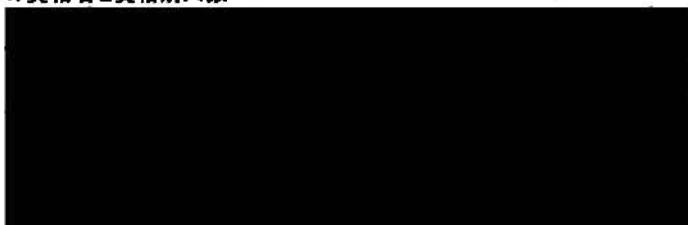
### 8. クラブ名-会員数(性別・年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	種目名
山手・三条サッカークラブ	45人(男性41人 女性4人) ~10歳 男性33人 女性4人 ~40歳 男性1人 ~50歳 男性5人 ~60歳 男性1人 ~70歳 男性1人	サッカー
山手バスケ ONESELF	8人(男性8人) ~20歳 男性1人 ~30歳 7人	バスケットボール
山手バスケ 土曜クラブ	28人(男性27人 女性1人) ~30歳 男性2人 女性1人 ~40歳 男性13人 ~50歳 男性12人	バスケットボール
山手 ミニバスケットボール教室	18人(男性14人 女性4人) ~10歳 男性13人 女性4人 ~50歳 男性1人	バスケットボール
クォーターテニスクラブ	32人(男性13人 女性19人) ~10歳 男性10人 女性13人 ~40歳 女性1人 ~50歳 女性1人 ~70歳 女性1人 70歳~ 男性3人 女性3人	クォーターテニス
山手スポーツ空手クラブ	54人(男性38人 女性16人) ~10歳 男性24人 女性8人 ~20歳 男性4人 女性1人 ~30歳 女性1人 ~50歳 男性6人 女性5人 ~60歳 男性3人 女性1人	空手
サリュ! ペタンク	19人(男性11人 女性8人) 小学生 女性2人 ~30歳 男性1人 ~40歳 男性1人 女性1人 ~50歳 男性2人 ~60歳 女性1人 ~70歳 男性1人 女性1人 70歳~ 男性6人 女性3人	ペタンク

卓球クラブ	14人(男性6人 女性8人) ~10歳 男性1人 女性2人 ~50歳 男性1人 ~70歳 男性1人 女性1人 70歳~ 男性3人 女性5人	卓球
YAMATEアスリートクラブ	21人(男性14人 女性7人) ~10歳 男性14人 女性7人	陸上
YAMATE 体操クラブ	24人(男性16人 女性8人) ~10歳 男性16人 女性8人	体操
健康体操クラブ	21人(女性21人) ~70歳 女性6人 70歳~ 女性15人	体操
山手太鼓	13人(男性7人 女性6人) ~10歳 男性5人 女性2人 ~20歳 男性1人 ~50歳 女性3人 70歳~ 男性1人 女性1人	和太鼓
芦屋ベアーズ	24人(男性24人) ~10歳 男性24人	野球

### 9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

空手クラブ :



サッカークラブ: 審判員 3級:1人 4級:8人  
4種公認指導員 C級:1人 D級:2人

バスケットボールクラブ: 日本バスケットボール協会 JA88A 公認コーチD級地域スポーツライセンス 2人

健康体操クラブ: 健康運動指導士・日本ウォーキング協会ウォーキング指導員・健康支援トレーナー

YAMATE 体操クラブ: 幼児教育初級公認指導員

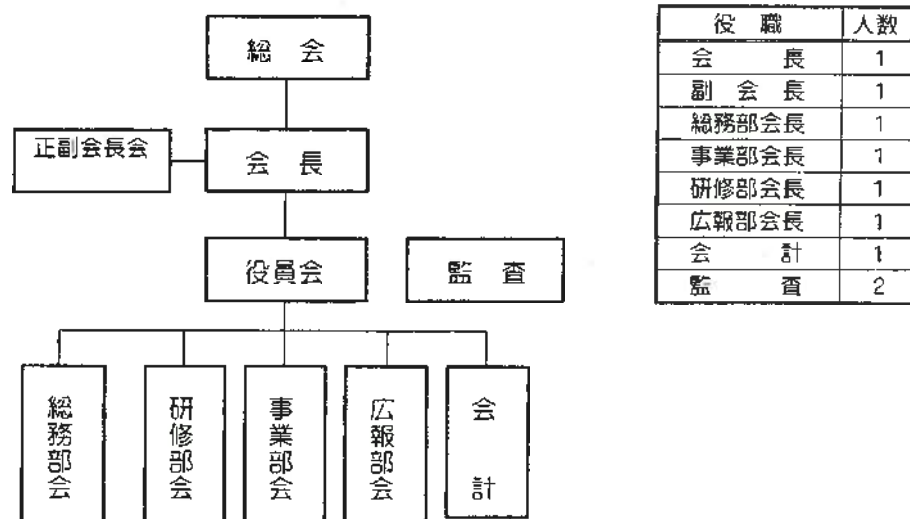
和太鼓 :

ペタンク : C級審判員3人

### 10. 実施した事業内容

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
親子ドッジボール大会	親子のふれあい	5月27日	山小家庭	150人	山小運動場
各クラブオープン教室	クラブPR 新会員獲得	4・5月	地域住民	各20人程度	山小体育館 山小運動場
YAMATEフェスタ	クラブPR 新会員獲得	4月15日	地域住民	200人	山小体育館 山小運動場
山手コミスク 「夏の夜のつどい」共催	地域の親睦	7月15日	地域住民	1000人	山小運動場
応急手当講習会	研修会	7月4日	地域住民	30人	クラブハウス
水泳講習会	水泳講習	7月21~25日	小学生	80人	山小プール
サリュ!ペタンク オープン大会	内外から広く募集 ペタンクを楽しむ	8月19日	地域住民 愛好者	200人	芦屋学園高校 運動場
みんなで遊ぼう 卓球大会	子ども達の運動 機会を設ける	11月29日	山小児童	40人	山小体育館
餅もちフェスティバル 共催	地域の親睦	12月9日	地域住民	1000人	山小運動場
みんなで遊ぼう カローリング大会	子ども達の運動 機会を設ける	2月28日	山小児童	40人	山小体育館
広報活動	幅広く地域住民に スポーツクラブをPR 参加呼びかけ	9月 3月	地域内 全域		

### 構成員とクラブ運営組織図概要



## 収支決算書

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

# 朝日ヶ丘 S C 2 1

## 1 収入の部

科目	決算額	摘要
助成金	(2,775円) 2,775円	市推進委員会事務局より
クラブ自主財源	(4,871,679円) 4,871,679円	前年度繰越金
会費	(300,000円) 253,000円	年会費 @1,000 × 242人 @500 × 22人(半年分) ※自主財源
雑収入	(20,000円) 円	
利息	(500円) 195円	クラブ通帳利息 24円 定期利息 171円 基金通帳利息 0円 ※自主財源
合計	(5,194,954円) 5,127,649円	

## 2 支出の部

科目	決算額	摘要
運営拠点整備費	(100,000円) 67,944円	石灰代 他 2,775円(基金) 65,169円(自主)
スポーツ活動費	(200,000円) 66,005円	オープンスクール 合宿費補助 他 (自主)
事業費	(100,000円) 21,432円	夏祭り協力金 他 (自主)
管理費	(100,000円) 円	
保険費	(10,000円) 円	
会議費	(25,000円) 円	
その他経費	(50,000円) 32,000円	功労賞 他 (自主)
自主財源	(4,609,954円) 4,940,268円	クラブ通帳へ預金
基金	(円) 円	基金積立金
計	(5,194,954円) 5,127,649円	

(注)・収支の計はそれぞれ一致する。

## H29年度事業実績書

＜朝日ヶ丘スポーツクラブ21＞

### 1. 指定小学校区

「朝日ヶ丘小学校」校区

### 2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所

芦屋市立朝日ヶ丘小学校 2F 205号室

### 3. スポーツ活動を行う施設名

朝日ヶ丘小学校 グランド及び体育館

### 4. 上記施設以外の他の連携する施設

朝日ヶ丘幼稚園 遊戯室及び空き教室

### 5. 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

[総 会]

役員会	人数	運営委員会	人数	所属
会長	1名	運営委員長	1名	役員会
副会長	2名	運営委員	24名	体育部
総務担当	2名	運営委員	1名	文化部
広報担当	2名	運営委員	1名	PTA
会計担当	2名	運営委員	2名	地域
監査役	2名	合計	29名	
幹事	7名			
合計	18名			

尚、役員会及び運営委員会の開催は年6回（2ヶ月単位）とするが、会長・委員長の養成に応じて随時に臨時委員会を開催できるものとする。

### 6. クラブ設立年月日

平成14年10月5日（スポーツクラブ21発足総会）

### 7. 運営委員会等の開催と協議内容

実施時期	事項	内容等
毎月1回	運営委員会	クラブ運営全般
平成29年4月22日	総会	平成28年度事業及び決算報告 平成29年度事業計画、予算の承認
平成30年3月27日	監査	会計監査

### 8. クラブ名、会員予定数（性別、年齢構成）及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数（性別、年齢構成）	活動種目
朝日ヶ丘 スポーツクラブ21	264人(男性161人 女性103人)	・サッカー
	～10歳 85人 9人	・野球 ・卓球
	～20歳 36人 10人	・ミニバスケットボール
	～30歳 3人 0人	・ミニテニス
	～40歳 3人 7人	・空手道
	～50歳 12人 7人	・クォーターテニス
～60歳 7人 3人	・健康体操	
61歳以上 15人 07人	・バドミントン	
		・フラダンス

### 9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格	資格別人数	指導者の資格	資格別人数
日本協公認スポーツ指導員	1名	日本空手道糸洲会練士九段	1名
日本協公認ジュニアスポーツ指導員	1名	日本空手道糸洲会練士七段	1名
軟式野球連盟審判員	3名	公式審判員（クォーターテニス）	1名
JFA公認3級公式審判員	2名	地域スポーツ指導員	1名
JFA公認4級公式審判員	8名	公認障がい者スポーツ指導員初級	1名
JFA公認D級指導者	3名	公認新体力テスト判定員	1名
JFA公認キッズリーダー	2名	芦屋市スポーツリーダー	5名
JBA公認D級コーチ	1名	地元有志	15名
JBA公認E-1級コーチ	1名		
		合計	48名

10、実施を予定する事業内容

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
スポーツ活動 ・サッカー ・野球 ・ミニバスケットボール ・ミニテニス ・空手道 ・卓球 ・クォーターテニス ・バドミントン ・健康体操 ・フラダンス	週1回定期的に練習を行い専門的知識及び技術の習得にあたる	毎週土・日曜日 毎週土・日曜日 毎週火・金・土曜日 毎週火曜日 毎週月・木曜日 毎週土曜日 毎週日・水・土曜日 毎週日曜日 毎週木曜日 毎週火曜日	会員	64人 42人 23人 16人 23人 13人 40人 14人 23人 9人	小学校 グラウンド 体育館等 幼稚園遊戯室 ゆうゆうクラブ
スポーツ教室 (オープンスクール) ・野球 ・サッカー ・バスケットボール ・空手	未経験者や初心者に基礎、基本を学んでもらうことにより、スポーツの楽しさを実感してもらう	5月20日 9月30日 11月3日 12月10日 5月14日 5月27日 7月8日 6月29日	会員 地域住民	19人 16人 18人 25人 30人 20人 14人 16人	小学校 グラウンド 体育館等
イベント ・ふれあい運動会 ・夏まつり ・コミスクDAY ・もちつき大会	イベントを通して3世代交流を図る	6月3日 7月23日 9月23日 12月3日	会員 地域住民	約1000人 14サークル 約500人	小学校グラウンド 小学校グラウンド 小学校 小学校
広報活動	幅広くクラブへの参加をよびかけるため広報紙やチラシの作成配布	年2回	地域住民		



## 平成29年度収支決算書

S C 2 1  
打出浜

1 収入の部 (クラブ名: スポーツクラブ21打出浜)

科 目	決 算 額	摘 要
補助金	( 0 円 ) 0 円	25年度終了の為
前年度繰越金	( 2,509,509 ) 2,509,509	
会 費	( 250,000 ) 252,000	会費1,00円×244名+8名
イベント参加料	( 100,000 ) 79,900	ファンラン 154名
利 息	( 25 ) 22	預金利息
雑 収 入	( 30,000 ) 52,120	物販売上・テント貸出
合 計	( 2,889,534 ) 2,893,551	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
スポーツ活動費	( 200,000 円 ) 160,640 円	サッカーゴール・ラインパウダー他
事 業 費	( 300,000 ) 45,666	ファンラン・護身術
広報活動費	( 30,000 ) 8,035	印刷機インク・用紙他
会 議 費	( 40,000 ) 36,000	新年互礼会・打ち合わせ等経費
事務管理費	( 40,000 ) 43,883	文具・消耗品他
整 備 費	( 100,000 ) 0	グラウンド整備(土購入)
雑 費	( 3,000 ) 1,872	振込・ゴミ処理費他
次年度繰越金	( 2,176,534 ) 2,597,455	
計	( 2,889,534 ) 2,893,551	

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
・申請内容を上段に( )書き、実績を下段に記入する。

## 事業実績書

- 1 指定小学校区  
芦屋市立打出浜小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所(連絡先〔TEL, FAX〕)  
芦屋市新浜町8番2号
- 3 スポーツ活動を行う施設名  
打出浜小学校体育館・運動場
- 4 上記施設以外に連携する施設名  
兵庫県立海洋体育館・
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要  
運営組織図 別途添付
- 6 設立年月日  
平成14年10月26日
- 7 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項	内容等
毎月1回	幹事会	活動企画等の承認
〃	事務局会議	事業の企画立案
年4回	広報委員会	広報紙作成
適宜	事業・研修会	地域事業・研修会等の企画

- 8 クラブ名、会員予定人数(性別、年齢構成)及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)		活動種目
スポーツクラブ 21打出浜 クラブ数14	252名 (男性155名 女性97名)		・野球・少年サッカー ・成人サッカー・剣道 ・ソフトバレー・空手 ・卓球・カヌー ・ミニバドミントン ・成人バドミントン ・ミニバスケット ・健康体操 ・クォーターテニス ・グリーンC(バレー)
～10歳	36	16	
～20歳	93	15	
～30歳	1	0	
～40歳	0	4	
～50歳	14	14	
～60歳	11	19	
61歳～	10	29	

- 9 配置する指導者の資格名と資格別人数

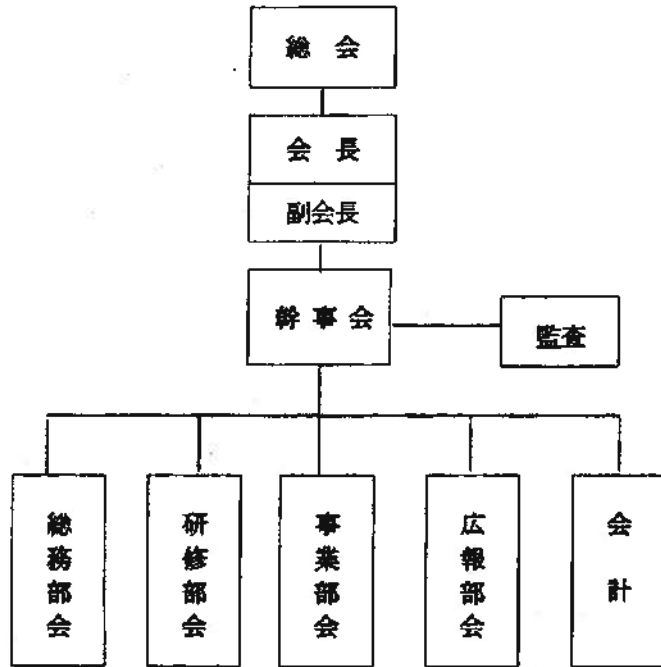
指導者の資格名	資格別人数
公認資格者	34 人
地元有志	20 人

- 10 実施を予定する事業内容(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
総会	役員の設定 年間行事決定 予算決定	H29年5月13日	運営委員 新・旧	60名 新・旧	クラブハウス
各クラブ活動	週1回以上 練習等実施 、スポーツ の特性を学 び技術の向 上を図る	毎月の施設使用 申請書にもとづ く	登録者	250名	運動場 体育館 クラブハウス
救命救急 講習会	アクシデン トに対する 基礎知識の 体得	H29年6月24日	登録者	20名	視聴覚室

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
芦屋ドラゴン ボートレース に参加	違うスポー ツを通じて 団結力を養 う	H29年7月30日	小学生ク ラブチー ム	20人	芦屋キャナ ルパーク
打出浜コミス ク秋まつり 共催	スポーツに 親しみを持 つよう出店 フリースロ ーゲーム	H29年9月23日	地域住民	240名	体育館
市民スポーツ フェスタに参 加スポーツ推 進委員主催)	「スポーツ に親しみを の企画	H29年10月9日	小学生空 手クラブ	20名	
打出浜フアン ラン2017	地域住民が 持続的にス ポーツに関 わるきっか け作り	H29年11月26日	地域住民	240名	運動場～芦 屋市マラソ ンコース
コミスク三世 代交流スポー ツ大会(クオリ ティ 大会)に共催	地域住民三 世代がニュ ースポーツ を通して交 流を図る	H30年1月20日	地域住民	約120名	体育館
新年互例会	各クラブと 地域役員の 親睦会	H30年1月20日	指導者・ 幹事・自 治会役員	40名	割烹 おど わ
スポーツクラ ブ21・コミス ク活動展	各クラブ活 動を紙面に 展示紹介	H30年2月1日 ～2月3日	各クラブ	17登録団 体	体育館・通 路の壁

5. スポーツクラブ21打出浜 運営組織図



役職	氏名	住所	電話	所属
会長				芦屋市カヌークラブ
副会長				打出浜FC
副会長				打出浜小学校教頭
会計				剣道
会計				クォーターテニス
総務部部長				健康体操
広報部部長				打出浜FC
研修部部長				健康体操
事業部部長				健康体操
監査				前会計
監査				元会計

## 収 支 決 算 書

(平成29年3月1日～平成30年3月31日)

# 岩園

## SC21

## 1 収入の部

科 目	決 算 額	摘 要
助 成 金	( 5,319,203 円 ) 5,319,203 円	市推進委員会事務局より
自主財源積立金	( 4,383,930 円 ) 4,383,930 円	前年度積立金残
会 費	( 190,000 円 ) 199,800 円	[内訳] 年会費：@200円×486人 活動拠点維持費：@300円×342人
雑 収 入	( 100,000 円 ) 185,979 円	[内訳] 講座参加費=160,000円 広報広告料= 20,000円 印刷機使用料=5,979円
銀 行 利 息	( 0 円 ) 88 円	[内訳] 基金預金利息= 38円 クラブ運営預金利息=14円 自主財源積立金利息=36円
計	( 9,993,133 円 ) 10,089,000 円	

## 2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
運 営 拠 点 整 備 費	( 1,000,000 円 ) 0 円	
スポーツ用品 購入・修理費	( 500,000 円 ) 5,400 円	トンボ
事 業 費	( 220,000 円 ) 105,868 円	水泳教室、クリーン作戦 いわぞのSC21フェスティバル等 (自主財源からの支出額： 行事保険代金8,000円)
運 営 費	( 50,000 円 ) 7,238 円	事務・会議費、通信費等 (自主財源からの支出額： 県連経協委員会への会費1,000円)
広 報 活 動 費	( 70,000 円 ) 51,940 円	広報紙(6000部/1回)を発行2回、 記録写真等
基 金	( 8,153,133 円 ) 9,918,554 円	基金積立：5,157,757円 + 本年度自主財源積立：4,760,797円
計	( 9,993,133 円 ) 10,089,000 円	

(注)・収支の計は、それぞれ一致する。

・申請内容を上段に( )書き、実績を下段に記入する。

・科目は、収支予算書と一致する

# 岩園スポーツクラブ21

## 事業報告書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

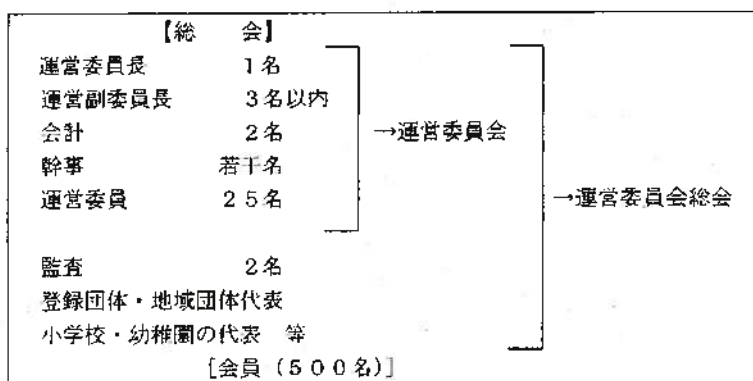
- 1 指定小学校区 芦屋市立岩園小学校
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所 (連絡先 [Tel, Fax])  
芦屋市立岩園小学校 敷地内

[住 所] 芦屋市岩園町23-41

- 3 スポーツ活動を行った施設名とその概要  
岩園小学校 グラウンド 及び 体育館

- 4 上記以外の他の連携する施設名  
芦屋市立岩園幼稚園

- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織概要



- 6 クラブ設立年月日 平成14年11月21日

- 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催日数	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
50名	12回(2時間)	40名	スポーツクラブ ハウス	

協議内容 ー 活動推進のための話し合い

※ 上記の定例会議以外に、定例役員会 毎月1回  
各事業に伴う企画・運営委員会 等  
啓蒙・啓発の広報作成会議 等

- 8 クラブ名 等

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)		種 目 名	
	男	女		
岩園スポーツ クラブ21	0才～10才	119	81	テニス・健康体操・剣道・卓 球・空手・少年少女サッカー・ 少年少女野球・婦人バレーボ ール・バスケットボール・ミ ニバスケットボール・クオー ターテニス・日舞・囲碁・ダン ス・(水泳)
	11才～20才	52	23	
	21才～30才	1	1	
	31才～40才	7	15	
	41才～50才	14	39	
	51才～60才	11	21	
	61才以上	48	54	
総数	(男) 252名+	(女) 234名	= 486名	

- 9 配置した指導者の資格と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
日本体育協会公認A級指導員	1名
日本体育協会公認体操マスター指導員	1名
公認体カテスト判定員	1名
芦屋市スポーツリーダー	1名
剣道範士 8段	1名
剣道教士 7段	1名

剣道錬士 7段	2名
剣道錬士 5段	1名
全日本空手道 松剛館公認指導員	3名
日本サッカー協会公認C級指導員	3名
兵庫県サッカー協会3級審判員	3名
兵庫県サッカー協会4級審判員	2名
市技術委員(サッカー)	2名
日本体育協会公認B級指導員(バレーボール)	1名
兵庫県家庭婦人バレーボール認定審判員	6名
地元有志	15名

10 実施した事業内容

実施事業名	目的及び開催回数・日数	対象者 (参加人数)	開催施設
<b>専門種目のサークル活動</b> ・テニス ・健康体操 ・剣道 ・卓球 ・空手 ・少年少女サッカー ・少年少女野球 ・婦人バレーボール ・バスケットボール ・ミニバスケットボール ・クォーターテニス ・子ども日舞 ・囲碁 ・ダンス	<b>専門種目の年間定例活動</b> (サークルにより週1～3回)	<b>会員(372名)</b>	岩小グラウンド 岩小体育館 ミーティング室 コミスク室 (クラブハウス) 岩幼遊戯室
<b>オープン・スクール</b>	<b>専門種目の一日体験入門講座</b> (各サークル=年1～2回開催)	<b>地域住民 (延べ80名)</b>	

<b>救急蘇生法講習会</b>	AEDについて、熱中症対策、 やけど、水の事故等についての 講習会 (H29.6.27) 岩園小学校PTAと共催	<b>大人(50名)</b>	コミスク室 (クラブハウス)
<b>夏休みプール開放</b>	<b>○小学生のための水泳教室</b> (H29.8.29～31) 事前申し込み、初心者対象、3日間の 泳力別少人数グループの水泳教室 <b>○学校のプール清掃に参加</b> (H29.8.22)	1日当たり: 小学生会員 (80名) +指導者(7名) 地域協力者(40名) 大人(20名)	岩小プール 更衣室 ミーティング室
<b>いわぞの秋祭り</b>	台風の為、中止 (H29.10.22)		岩小校庭
<b>岩園スポーツクラブ21 フェスティバル</b>	秋祭りが中止になったため、スポーツ大会と 合わせて企画 ・ステージでのサークルパフォーマンス等 ・同時に、テニス・ミニバス・サッカー・ 野球の体験教室を開催 (H29.12.3) 会員と地域住民(1000名)		岩園幼稚園 岩小体育館 岩小校庭
<b>ふれあい広場 いわぞの活動展 公式ワナゲ体験会</b>	『岩園 SC21』活動の発表と啓蒙 (H30.2/1～/3) 『活動展』開催時に、公式ワナゲ体 験会開催(市民大会エントリー) (H30.2.3)	<b>会員 地域住民</b>	岩小校舎2F ラウンジ 岩小校舎2F テラス
<b>1.17は忘れない 地域防災訓練</b>	県政150周年記念県民連携事業として… 「体験型防災アトラクション」開催 事前申し込み (H30.2.10)	<b>地域住民 (350名)</b>	体育館棟 校舎開放ゾーン
<b>クリーン作戦</b>	いつも使用している学校施設を 一斉清掃 (H30.2.24) (この日以外にもサークルが輪番 制で校庭と体育館のトイレ清掃を 実施)	<b>会員を中心に 地域住民 (子ども&amp;大人 200名)</b>	・体育館棟 ・校舎棟廊下 階段・昇降口 ・校庭 ・正門内外
<b>広報活動</b>	○「岩園 SC21」活動の理解と啓蒙を 目指し、H29年7月とH30年3月に 広報紙発行(地域全世帯(6000部)に 配布) ○行事ごとに、ご案内チラシ・ ポスターを作成し配布、貼付		

## 収支決算書

# SC21 精道

1 収入の部 クラブ名 (SC21 精道)

科 目	決 算 額	摘 要
助成金	( 4,314,137 円) 4,314,137 円	市推進委員会事務局より
クラブ財源金	( 2,000,664 ) 2,000,664	クラブ自主財源繰越金
年会費	( 60,000 ) 42,200	200円×211人分
活動費	( 30,000 ) 3,600	3世代
使用料	( 100,000 ) 67,218	印刷機使用料
雑収入	( 5,000 ) 2,364	預金利息
計	( 6,509,801 ) 6,430,183	

2 支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
拠点整備費	( 100,000 円) 0 円	* 自主財源 0円
運営費	( 320,000 ) 110,287	* 自主財源 7,065 円 3世代交流スポーツ大会、益師リ講習会等
備品費	( 300,000 ) 30,369	* 自主財源 0円
諸謝金	( 300,000 ) 7,500	* 自主財源 0円
事務管理費	( 170,000 ) 9,058	* 自主財源3,916円 保険料等
消耗品費	( 110,000 ) 89,908	* 自主財源 0円 事務消耗品
印刷製本費	( 150,000 ) 53,604	* 自主財源 0円 印刷費
自主財源	( 2,145,664 ) 2,105,065	次年度繰越金
基金	( 2,914,137 ) 4,024,412	次年度繰越金
計	( 6,509,801 ) 6,430,183	

(注) ・ 収支の計はそれぞれ一致する。  
 ・ 申請内容を上段に ( ) 書き、実績を下段に記入する。

別紙（第12 - 第13条関係）

**スポーツクラブ21精道  
事業実績報告書**  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

- 1 指定小学校区  
芦屋市立精道小学校区
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所  
芦屋市精道町8-25 芦屋市立精道小学校内  
精道コミュニティスクール・スポーツクラブ21事務室
- 3 スポーツ活動を行った施設名  
精道小学校 グランド及び体育館
- 4 上記施設以外の他の連携した施設名  
なし
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図  
スポーツクラブ21精道

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>会長</td><td style="text-align: center;">1人</td></tr> <tr><td>副会長</td><td style="text-align: center;">1人</td></tr> <tr><td>会計</td><td style="text-align: center;">2人</td></tr> <tr><td>理事</td><td style="text-align: center;">6人</td></tr> <tr><td>監事</td><td style="text-align: center;">2人</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">(役員会)</td></tr> </table>	会長	1人	副会長	1人	会計	2人	理事	6人	監事	2人	(役員会)		<p>登録団体</p> <p>団体9 (210人)</p> <p>個人会員 (3人)</p> <p>(代議員総会)</p>
会長	1人												
副会長	1人												
会計	2人												
理事	6人												
監事	2人												
(役員会)													

213人(29年度会員)

- 6 クラブ設立年月日  
平成15年11月6日 (設立総会 平成16年1月31日)

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数 (時間数)	1回当たりの出席者数	開催場所	備考
11人	9回 (13時間)	10人	精道小学校内コミスク・ス ポーツクラブ21事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度実施事業の内容検討(オープンスクール・三世代交流スポーツ大会・その他)</li> <li>・スポーツクラブ21精道の運営方針の検討</li> <li>・平成30年度総会準備</li> </ul>

8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

ク ラ ブ 名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	活 動 種 目
スポーツクラブ21精道 (愛称:ブルーバイン)	213人(男137人 女76人) ~10歳 39人 5人 ~20歳 45人 16人 ~30歳 11人 5人 ~40歳 9人 14人 ~50歳 12人 10人 ~60歳 9人 11人 61歳以上 12人 15人	野球・サッカー・バレーボ ール・バドミントン・なわ とび・健康体操・バスケッ トボール・空手・ダーツ(休 会中)

9 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
全日本軟式野球連盟審判員2級	1人
日本サッカー協会C級コーチ	2人
日本サッカー協会D級コーチ	4人
日本サッカー協会3級審判員	2人
日本サッカー協会4級審判員	3人
兵庫県バレーボール連盟B級審判員	6人
日本バドミントン協会公認3級審判員	2人
国際なわとび競技連盟 国際審判員	2人
国際なわとび競技連盟公認審判員	4人



10 実施した事業内容

実施事業名	ねらい等	開催回数 日 数	対象者	参加 人 数	開 催 施 設
三世代交流スポーツ大会	高齢者から子どもまでが楽しめるスポーツで多世代の交流と親睦を図り、地域でのスポーツ活動への参加機会の創設と啓発を図る。	平成 29 年 11 月 4 日 クオリティ大会	会員 地域住民	36 人	小学校 体育館
スポーツ啓発活動の実施	スポーツ活動に誰もが気軽に参加し、身体を動かすことの楽しさを見つけ、スポーツを通じたコミュニケーションを通して地域の活性化を図る。	平成 29 年 7 月 5 日 盆踊り講習会	小学生 地域住民	165 人	体育館
専門部活動	各種目別の各専門部のスポーツ活動を定期的に行い、専門知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。各種の大会等に参加する。	野球 2・4 土、日	小学生	23 人	運動場
		サッカー1・3・5 土、日	小学生	68 人	運動場
		バドミントン 日	地域住民	30 人	体育館
		バレーボール火・木・土	成人	19 人	体育館
		なわとび 火・木	地域住民	30 人	体育館
		健康体操（ヘルス） 水	成人	13 人	体育館
		バスケットボール木・土	成人	9 人	体育館
		空手 月	地域住民	18 人	体育館
コミスク活動への協賛	スポーツクラブ21精道の母体となる精道コミスクの事業に協賛・参加し、スポーツクラブの広報、啓発を図る。	平成 29 年 7 月 29 日 夏祭り	地域住民	1000 人	運動場
		平成 30 年 3 月 21 日 精道フェスティバル	地域住民	400 人	体育館
広報活動	年 2 回スポーツクラブ21精道の広報誌を作成し、精道小学校校区内の全家庭に配布し、スポーツクラブの周知を図る。	平成 29 年 7 月 平成 30 年 3 月	地域住民	約 5500 世帯	

# 浜風 S C 2 1

別記(準用)

## 収支決算書(平成29年度)

1 収入の部 クラブ名(浜風スポーツクラブ21)

科目	決算額	摘要
基金	( 1,090,554 円) 1,090,554 円	前年度繰越金
自主財源	( 552,078 ) 552,078	前年度繰越金
会費	( 40,000 ) 37,800	200円×189人
傷害保険	( 0 ) 0	
利息	( 200 ) 12	①基金通帳(3) ②クラブ通帳(5) ③自主財源(4)
計	( 1,682,832 ) 1,680,444	

2 支出の部

科目	決算額	摘要
運営拠点整備費	( 100,000 円) 0 円	物置 他
運営費	( 100,000 ) 19,755	スポーツ交流会、夏の行事
備品費	( 250,000 ) 33,739	体育館掃除機
諸謝金	( 50,000 ) 5,000	護身術、
事務管理費	( 50,000 ) 1,080	事務用品、振込手数料
消耗品費	( 50,000 ) 990	ゴミ袋
印刷製本費	( 200,000 ) 96,433	広報紙、用紙代、トナー、インク代
自主財源	( 592,278 ) 589,890	自主財源積立金(次期繰越金)
基金	( 290,554 ) 933,557	基金積立金(次期繰越金)
計	( 1,682,832 ) 1,680,444	次期繰越金合計 1,523,447円

(注) ・収支の計はそれぞれ一致する。  
・申請内容を上段に( )書き、実績を下段に記入する。

事業実績書(平成29年度)

- 1 指定小学校区  
芦屋市立浜風小学校区
- 2 活動拠点となったクラブハウス設置場所(連絡先〔TEL, FAX〕)  
芦屋市立浜風小学校内
- 3 スポーツ活動を行った施設名  
浜風小学校運動場、体育館、会議室  
更衣室 プール
- 4 上記施設以外に連携した施設名  
芦屋市立体育館 新浜公園 芦屋市総合公園
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図  
会長 1名 副会長 3名 会計 2名  
理事 各所属団体より1名以上 監事 若干名  
上記のメンバーで 理事会を構成
- 6 クラブ設立年月日  
平成15年12月18日

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数 (時間数)	1回当たり の出席者数	開催場所	備考
16	12回(月1回)	16	浜風小学校 会議室	(検討した協議内容について、具体的に記入する。) 所属団体の情報交換、施設使用調整、行事の企画・運営など

8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	活動種目
浜風スポーツクラブ21	189人(男性120人、女性69人) ~10歳 50人 15人 ~20歳 18人 2人 ~30歳 4人 2人 ~40歳 20人 8人 ~50歳 16人 11人 ~60歳 7人 12人 61歳~ 5人 19人	少年少女軟式野球 気功 成人ソフトボール ママさんバレーボール 少年少女サッカー スポンジボールテニス ミニバスケットボール フットサル 空手 カローリング

9 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
サッカーC級ライセンス	1人
サッカー審判4級	7
フットサル審判3級	2
兵庫県ソフトボール協会指導員	1
少林寺流空手道連盟練心士6段教士	1
同 2段指導員	1
剛心流空手道松剛館本部指導室2段	2
同 4段	1
日本健身気功協会指導員	1
県公認バレーボール審判員	4
地域指導員	28

10 実施した事業内容(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
各クラブ活動	スポーツ活動	週1日~4日	会員	189人	浜風小学校 グラウンド、 体育館 他
各クラブ体験教室	スポーツ活動の体験	随時	地域住民 浜風小学校 児童など		浜風小学校 グラウンド、 体育館 他
交流スポーツ大会 (ウォークラリーと風船バレー公式ワナゲ)	地域交流 ニュースポーツの普及	4月22日	地域住民	約300人	浜風小学校 グラウンド、 体育館
ふれあいプール 開放は大規模改修のため中止					
ラジオ体操	地域交流 早起き促進 健康増進	7月21日~ 8月12日	地域住民	延べ100 0人	新浜公園
サマーニハル 芦屋浜夏祭り ドラゴンボート 芦屋浜健康フェスタ	地域行事に 参加協力	7月22日 7月29日 7月30日 雨で中止	地域住民		総合公園 中央公園 南芦屋浜水路
護身術講習会	護身術体験	11月19日	地域住民	50人	浜風小学校 体育館
ハロウィン	浜風小学校 PTAと共 催	10月28日	地域住民・ 主に子ども 達	約250人	浜風小学校 体育館
どんど焼きと防 災訓練 公式ワナゲ	地域交流と ニュースポ ーツ紹介	1月13日	地域住民	延べ600 人	浜風小学校 グラウンド 体育館
スポーツ推進委 員活動	各種イベン ト協力 研修会参加	随時		2人	
広報紙発行	広報活動	年2回 68号・69号	地域住民	3300部	浜風小学校区 全戸配布

## 平成30年度 予算書・事業計画書

- 1.平成30年度予算書（9クラブ分）
- 2.平成30年度事業計画書（9クラブ分）

# 三条 SC21

別記(準用)

(クラブ名)三条スポーツクラブ21

## 収支予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

### 1 収入の部

(円)

科目	予算額	摘要
助成金	1,591,155	市推進委員会事務局より (前年度基金残より1,591,155円)
クラブ積立金	614,674	※自主財源
会費	35,000	※自主財源
利息	20	※自主財源(基金通帳利息、クラブ通帳利息)
計	2,240,849	(左金額内の自主財源額649,694円)

### 2 支出の部

(円)

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	20,000	管理備品等
スポーツ用品購入費	50,000	ラインパウダー、スポーツ用品等
運営費	210,000	ラジオ体操、夏の夜のつどい、運動会等 ※自主財源(10,000円)を含む
管理費	5,000	
事務・消耗品費	25,000	印刷用紙代、インク代等
分担金	1,000	スポーツ21連絡協議会年会費 ※自主財源
傷害保険料	10,000	※自主財源
基金	1,291,155	
クラブ積立金	628,694	※自主財源
計	2,240,849	

# 三条スポーツクラブ21 平成30年度事業計画書

- 1 指定小学校区 芦屋市三條コミュニティスクール地域（旧芦屋市立三條小学校区）
- 2 活動拠点クラブハウス設置場所 三條分室2階三條コミスク室
- 3 スポーツ活動を行う施設とその概要 山手中学校第1グラウンド・第2体育館
- 4 上記以外の他の連携した施設名 芦屋市立三條地区集会所
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営委組織図

運営委員長	1名	役員会	推進委員会	運営委員会	総会
副運営委員長	1名				
推進委員長	1名				
会計	2名				
会計監査	2名				
推進委員	22名				
運営委員	78名				
会員	350名				

- 6 クラブ設立年月日  
昭和59年9月 三條コミュニティスクール発足  
平成13年3月 三條スポーツクラブ21設立

- 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	使用会場名	備考
78名	芦屋市役所三條分室2階 三條コミスクプレイルーム	運営委員会
22名	芦屋市役所三條分室2階 三條コミスク会議室	推進委員会
年間事業計画、予算、スポーツ保険推進、会員募集、実行委員会 施設利用日程調整、事業実行委員会		

- 8 クラブ名等

クラブ名	会員数(性別、年齢構成)			種目
	350人	男 152(人)	女 198(人)	
三條スポーツクラブ21	～10歳	73	72	・少年野球 ・バレーボール ・健康体操
	～20歳	28	21	・卓球 ・硬式テニス
	～30歳	5	5	
	～40歳	11	10	・ウォーキング
	～50歳	5	3	・公式ワナゲ
	～60歳	10	20	・ラジオ体操
	61歳以上	20	67	・民謡踊り

- 9 配置予定の指導者の資格名と資格別人数

兵庫県軟式少年野球審判員 6名、スポーツ指導員(健康体操)・中学校保健体育教諭資格 1名 日本体育協会スポーツリーダー、体力測定判定員
--

- 10 実施予定事業内容

実施事業名	ねらい等	回数、日数	対象者	参加人数	開催施設
少年野球	定期的練習 及び スポーツの普及 (生涯スポーツの普及)	毎週 土・日	三條スポーツ クラブ 21 会 員	36名	第1グラウンド
卓球		毎週 土曜日		23名	第2体育館
健康体操		月3回 水曜日		26名	三條地区集会所
硬式テニス		月1～2回 日曜日		20名	第1グラウンド
バレーボール		毎週 土・日曜日		18名	第2体育館
ラジオ体操ラリー	地域交流 多世代交流	夏休みに実施	三條スポーツ クラブ 21 会 員	1日平均100名	地域内4会場
盆おどり		8月 2回		2回 60名	三條地区集会所
第39回運動会		11月17日		400名	第1グラウンド
初日の出ウォーキング		2019年元日		50名	地域内会下山
公式ワナゲ記録会		未定		20名	三條地区集会所
スポーツに挑戦!		未定		20名	第2体育館
広報紙発行	広報・行事告知	年6回	地域全域配布	3,200世帯	

# S C 2 1 潮見

別記(準用)

(クラブ名) スポーツクラブ21潮見

## 収支予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

### 1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	1,973,337	市推進委員会事務局より (前年度基金残より1,973,337円)
クラブ財源金	1,690,884	※自主財源 (前年度繰越金 1,690,884円)
年会費	87,500	成人 500円×100=50,000 こども 250円×150=37,500
イベント参加費	20,000	行事参加費用(自主財源)
雑収入	50,000	事業収益金(自主財源)
利息	20	銀行利息(自主財源)基金・クラブ
計	3,821,741	(左金額内の自主財源額 1,848,404 円)

### 2 支出の部

科目	予算額	摘要
運動拠点整備費	500,000	管理備品費
消耗品費	50,000	事務用品費用・印刷機マスター、トナー代
諸謝金	30,000	講師謝金
事業費	80,000	スポーツ活動・講習会開催費用 (自主財源より40,000円)
雑費	10,000	振込手数料 他
通信運搬費	40,000	会員の連絡・運搬費
会議費	10,000	総会・連絡協議会費用
保険料	20,000	スポーツ傷害保険
基金	1,273,337	平成31年度への繰越金
クラブ積立金	1,808,404	平成31年度への繰越金
計	3,821,741	

## 事業計画書(30年度)

### 1. 指定小学校区とその概要(芦屋市立朝見小学校区)

当校区は、兵庫県企業庁が昭和50年代はじめに芦屋浜を埋め立て、開発した「芦屋浜シーサイドタウン」の宮川以西及び南芦屋浜の新興住宅地である。

高層住宅、中層住宅、低層連続住宅、独立住宅が昭和54年から入居以来関係住民が積極的に活動し、加えて昭和56年にコミュニティ・スクールが設置されスポーツや文化活動を通じて比較的まとまりのある校区である。

スポーツ活動は団地開設当時から活発で、野球、少年野球、空手等があり、その後コミュニティ・スクールが設置されたこともあり少年サッカー、ミニバスケット、成人サッカー、などが小学校のグラウンドや体育館を中心に活動している。特に、少年野球、少年サッカー、ミニバスケットは芦屋市代表として県大会、近畿大会、全国大会に出場した経歴を有している。

また、当クラブは、スポーツを通じて「多世代の地域住民が交流を図る」「青少年の健全育成を図る」「心身ともに健康で明るい地域社会を目指す」を理念とし、子どもから大人まで地域住民の親睦を深めるのに大いに貢献している。

### 2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所(連絡先[TEL, FAX])

芦屋市立朝見小学校 南校舎 3階 芦屋市朝見町1番2号 電話・FAXは未設置

### 3. スポーツ活動を行う施設名とその概要

小学校グラウンド及び体育館

### 4. 上記施設以外の他の連携する施設名

該当なし

### 5. 運営委員会の構成員とクラブ運営組織図及びクラブ設立年月日

構成員(別紙) 平成13年6月3日(クラブ設立年月日)

### 6. クラブ育成に向けた年間計画概要(一覧表にて作成)

実施時期	事項	内容等
平成30年5月17日	年次総会	事業、決算報告、新年度事業計画、予算案の審議・役員を選出等
毎月第3木曜日	幹事会	クラブ報告、事業計画等の打合せ
年間2回	広報委員会	広報活動の打合せ
随時開催	事業委員会	各事業の企画立案
平成30年4・5月	オープンスクール	各クラブによる体験教室を実施
平成30年7月	ラジオ体操	健康維持
平成30年11月	実技研修会	体力向上と健康維持のための講習
平成31年2月	スポーツ交流会	スポーツ参加意識向上への内容
その他		
7月29日	ドラゴンボート大会	市民交流スポーツ大会への積極的参加
10月14日	健康フェスタ	(スポーツクラブ21ひょうご交流フェスティバル)
3月9日	チャレンジ・ザ・ゲーム	

### 7. クラブ会員予定人数(性別、年齢構成)及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	子定する種目
シーサイド若葉	19~65才(男子) 21	野球
潮見スターズ	7~12才(男女) 20	少年野球
指導者	10	
たんぽぽ(卓球)	40~70才(男女) 10	卓球
潮見ミニバスケットクラブ	7~12才(男女) 30	バスケット
指導者	4	
シーサイドバスケット	18~70才(女子) 12	バスケット
潮見少年サッカークラブ	5~12才(男子) 41	サッカー
指導者	11	
潮見フットサルクラブ	20~40才(男子) 6	サッカー
少林寺流練心館空手	5~60才(男女) 11	空手
指導者	(男子) 2	
潮見バドミントンクラブ	20~70才(男女) 14	バドミントン
スポンジボールテニスクラブ	20~70才(男女) 19	スポンジテニス
潮見健康体操倶楽部	20才以上(女子) 休部	健康体操全般
金管バンド	6~12才(男女) 19	金管楽器演奏
指導者	4	
和太鼓倶楽部 あしかぜ	40~80才(男女) 16	和太鼓
指導者	(男子) 1	

### 8. 配置する指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数	指導者の資格名	資格別人数
兵庫県サッカー協会3級審判員	2名	兵庫県家庭婦人公認審判員	1名
兵庫県サッカー協会4級審判員	5名		
兵庫県サッカー協会B級審判員	2名	全日本空手道連盟6段	1名
兵庫県サッカー協会C級審判員	3名	全日本空手道連盟初段	6名
フットサル審判4級	4名	教員免許	9名
全国軟式野球連盟公認審判員	2名		
全国軟式野球連盟審判員A級	6名	その他地元有志	数名



9. 実施を予定する事業内容(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
シーサイド若葉		週1回			
潮見スターズ	毎週1回以上定期的に練習を行い、専門的知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。	週3回	登録者 全員	会員及 びビジ ター	小学校の体 育館・グラン ド
たんぼぼ		週1回			
潮見ミニバスケット		週3回			
シーサイドバスケット		週1回			
潮見少年サッカー		週3回			
潮見フットサル		週1回			
空手クラブ		週2回			
潮見バドミントンクラブ		週2回			
スポンジテニス		週2回			
潮見健康体操倶楽部		休部中			
金管バンド	スポーツと文化的活動も含め、スポーツクラブ推進を図る。	週2回			
和太鼓倶楽部あしかげ		週4回			
地域交流スポーツ大会	年2回 地域全住民を対象として親睦と健康増進	年2回	全住民	300名	グラウンド
各種目別にオープンスクールを開催	会員増強につなげるため	年複数回			

2018年度スポーツクラブ21潮見 運営委員会組織表

2018年4月1日～2019年3月31日

役 職	氏 名	所 属	電 話 & F A X
会 長		和太鼓	
副 会 長		バドミントン	
〃		成人野球	
会 計		ミニバスケット	
〃		〃	
会 計 監 査		和太鼓	
〃		スポンジボール	
相 談 役		卓球	
〃		P T A	
顧 問		潮見小学校 校長	
		〃 教頭	
総 務		バドミントン	
〃		バスケット	
〃		バドミントン	
広 報		少年サッカー	
〃		〃	
〃		〃	
〃		金管バンド	
		〃	

# SC21 宮川

## 平成30年度 会計予算案

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(スポーツクラブ21宮川)

収入の部 [単位:円]

項目	予算額	摘要
前年度繰越金	131,050	
会費	170,000	170名 一人あたり年間1000円
備品・機材貸出料	10,000	照明・音響器具貸出料他
雑収入	20,000	印刷代他
合計	331,050	

支出の部 [単位:円]

項目	予算額	摘要
会費・事務費	20,000	用品代他
消耗品費	20,000	備品・消耗品代他
広報誌作成費	10,000	印刷代他
夏祭り費	20,000	備品代他
スポーツフェスティバル費	80,000	備品代他
文化祭費	10,000	備品代他
臨時事業費	10,000	特別事業代他
対外活動費	10,000	参加活動代他
雑費	10,000	
施設管理費	120,000	修理代他
予備費	21,050	
合計	331,050	

# 事業計画書

## 1 指定小学校区とその概要

### 「芦屋市立宮川小学校区」

芦屋市立宮川小学校は本年度で創立92周年を迎える伝統ある小学校である。その故に小学校区内の住民は宮川小学校の卒業生が多く、小学校に対する親しみも強く、また、古くから住んでいる人達が多く地域の連帯感がある。小学校区内の7つの町の自治会町内会も活性化しており、30年以上の歴史を持つコミュニティ・スクールへの参加率も高く各種の活動が活性化している地域である。  
地域的に利点があるのは小学校が小学校区の真中にあり、人々が集まりやすい事がある。

## 2 活動拠点となるクラブハウスの設置場所

### 「芦屋市立宮川小学校グラウンド南プール棟1階」

宮川小学校グラウンド南プール棟の1階は宮川コミュニティ・スクールのフロアとして使用しているのでその一室を改造して「スポーツクラブ21 宮川」のクラブハウスとして使用する。

## 3 スポーツ活動を行う施設名とその概要

小学校体育館・グラウンド・コミスクフロア

## 4 上記施設以外の他の連携する施設名

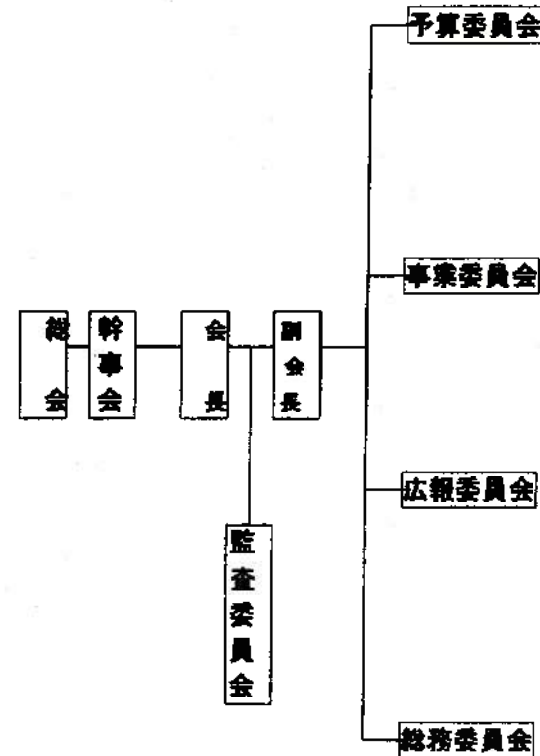
該当なし

## 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要

会長	1名
副会長	2名
役員	8名
幹事	8名



スポーツクラブ 21 宮川  
幹事会



## 6 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項	内容
平成30年5月19日	総会	事業報告他総会議事
毎月第3土曜日	幹事会	各クラブ活動の現状把握及び事業立案
適時	役員会議	各種打ち合わせ

## 7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	一回あたり出席者数	開催場所
19名	11回	平均15名	宮川コミスク会議室
事業の企画立案・予算処置・企画実施打ち合わせ			

## 8 クラブ会員予定人数（性別・年齢構成）及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	予定する種目
宮川少年サッカースクール	60名(小学生 男子60名)	サッカー
宮川ミニバドミントンクラブ	20名(小学生 男子2名女子18名)	バドミントン
宮川バドミントン同好会	8名(15歳以上 男子2名女子6名)	バドミントン
宮川クラブ	10名(成人 女子10名)	バレーボール
ソフトバレーボールクラブ	14名(成人 女子14名)	ソフトバレーボール
宮川少年野球団	13名(小学生 男子13名)	野球
宮川ミニバスケットボール	15名(小学生 男子15名)	バスケットボール
宮川空手道教室	30名(成人5名 小学生 25名)	空手
8団体	170名	

## 9 配置する指導者の資格名と資格別人数

種目	指導者の資格	資格別人数
サッカー	地域有志	10名
野球	公認審判員	5名
	地域有志	10名
バスケット	公認審判員	3名
	地域有志	2名
バドミントン	公認審判員	2名
	地域有志	3名

## 10 実施を予定する事業内容

実施事業名	わらい等	回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
夏祭り	地域活性化	年 1回	地域内 全員	700名	体育館 他
宮川国際スポーツ フェスティバル	4世代・国際 交流	年 1回	地域内 全員	700名	グラウンド
各クラブ活動	専門種目の 個別活動	週 1~2回	各会員	170名	全施設

# SC21 YAMATE

別記(準用)

(クラブ名) スポーツクラブ21YAMATE

## 収支予算書 (平成30年4月1日~平成31年3月31日)

### 1 収入の部 (単位:円)

科目	予算額	摘要
基金	2,216,485	市推進委員会事務局より
自主財源	5,216,377	(前年度基金残より)
会費	200,000	※自主財源 年会費500円×400人
運営拠点維持費	35,000	※自主財源 100円×350人
参加費	200,000	※自主財源
利息	138	※自主財源 ①基金通帳利息 38円 ②クラブ通帳基金 100円
計	7,868,000	

### 2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	100,000	管理備品費 (基金から)
スポーツ用品購入費	250,000	各種スポーツ用品費・修理費 (基金から)
報奨費	200,000	指導者謝金・交通費等 (基金から)
運営費	200,000	イベント開催費用 (基金から)
傷害保険料 (役員・各種行事)	17,000	スポーツ保険 (基金から)
消耗品費	100,000	スポーツ活動消耗品費 (基金から) 事務用品消耗品費等
会議費	10,000	総会・運営委員会・協議会等 (基金から)
クラブハウス維持費	25,000	光熱費・電話代等 (基金から)
使用料・賃貸料	20,000	スポーツ施設・会議費・用品等 使用料 (基金から)
通信運搬費	10,000	会員連絡送料等 (基金から)
印刷製本費	100,000	広報紙・会員証作成費等 (基金から)
基金	1,184,485	
自主財源	5,651,515	
計	7,868,000	

# 事業計画書

## 1. 芦屋市立山手小学校区

当校区は、芦屋市の中央北部に位置するが、2号線沿いから北は奥池まで広範囲の地域で、商業区域、住居区域を擁している。学校は、創立78年になる伝統校である。2000年には三条小学校と統合され、新校舎とともに新生山手小学校としてスタートした。従来、山手地域では、山手コミスクによる秋の運動会などスポーツ活動が恒例行事として活発に行われていたが、阪神淡路大震災以後、住民の減少、さらには校舎立替の時期をはさみ、活動がやや不活発になっていることは否めない。また、住民の高齢化により、急な坂の途上という学校の立地条件もマイナス要因である。これら困難な点も、スポーツによる健康増進や3世代の交流の重要性を考え、住民の熱意でクリアできると信じている。しかし、最近、夜間の体育館使用について、音の問題で地域住民から苦情が出るなど、活動に関して新たな問題が生じている。

## 2. 活動拠点

芦屋市立山手小学校 西棟3F TEL・FAX 0797-23-1707

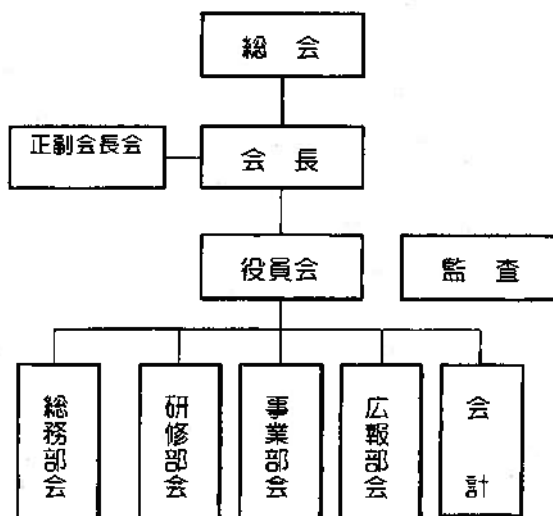
## 3. 施設名

山手小学校の運動場・体育館・プール など

## 4. 他の連携する施設名

芦屋市総合運動公園・大原集会所 など

## 5. 構成員とクラブ運営組織図概要



役 職	人数
会 長	1
副 会 長	1
総務部会長	1
事業部会長	1
研修部会長	1
広報部会長	1
会 計	1
監 査	2

## 6. クラブ設立年月日 2001年11月26日

## 7. クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事 項	内 容 等
毎月1回程度	常任委員会	○運営委員会議案等の素案 ○クラブ運営の素案 など
毎月1回程度	運営委員会	○プラン運営の素案 ○実施後の反省 ○年間計画の調整・打ち合わせ ○各クラブ活動報告と調整 ○校区内外行事との調整 など
平成30年4月	スポーツフェスタ	クラブ一室に会し、紹介及び新会員募集
平成30年5月	オープン教室	○各所属クラブ ○新クラブ、及び既存クラブの会員募集のため
平成30年5月	スポーツ大会	ドッジボール
平成30年7月	水泳講習会	講師を招き、水泳講習
平成30年8月	スポーツ大会	ペタンク
平成30年10月	スポーツ大会	卓 球 (予定)
平成31年2月	スポーツ大会	カローリング (予定)
年数回程度	研 修 会	研修会の開催

## 8. クラブ会員予定人数

クラブ名	クラブ会員数(性別・年齢構成)	予定する種目
山手・三条サッカークラブ	50人 (男女対象 小学生～)	サッカー
山手スポーツ空手クラブ	50人 (男女対象 幼稚園～)	空 手
山手バスケ土曜クラブ	20人 (男女対象 高校生～)	バスケットボール
ミニバスケットボール教室	20人 (男女対象 小学生)	バスケットボール
クォーターテニスクラブ	20人 (男女対象 小中学生～)	クォーターテニス
卓 球 ク ラ ブ	20人 (男女対象 小学生～)	卓 球
サリュ! ペタンク	20人 (男女対象 小学生～)	ペタンク
アスリートクラブ	30人 (男女対象 小学生)	陸 上
健康体操クラブ	20人 (成人男女)	健康体操
体操クラブ	30人 (男女対象 小学生)	体 操
芦屋ペアーズ	30人 (男女対象 小学生)	野 球
和太鼓クラブ 山手太鼓	20人(男女対象 小学生)	和太鼓

その他、スポーツイベント毎に(水泳講習会、ドッジボール大会など)で入会を促す。

## 9. 配置する指導者

随時、配置の予定  
 既存クラブの有資格者は、報告書に記載したとおりです。  
 新クラブを増やす努力をします。  
 その際、有資格者を講師に当てます。

## 10. 実施予定事業

実施事業名	目的 及び 活動回数	対象	人数	開催施設
各クラブ活動	技術、専門知識の向上を図り あわせて相互の親睦を深める。 各種大会に出場し、地域の団結心 を高める。 毎週1回～数回の練習	全登録者	10～ 50人	山手小学校 運動場 体育館 集会所
ニュースポーツ 大会	年2回程度 普及と親睦を図る	地域住民	100人	同上
各クラブ大会	クラブ員以外へのオープン体験	地域住民	100人	同上
指導者研修会	知識・技術の向上を図る	指導者	30人	同上
講演会 研修会	知識・技術の向上を図る	地域住民	不特定 多数	山手小学校内 クラブハウス

## 収支予算書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

朝日ヶ丘  
S C 2 1

## 1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	0円	市推進委員会事務局より
自主財源	4,940,268円	前年度繰越金
会費	250,000円	※自主財源 1,000円×250人
雑収入	20,000円	※自主財源 各行事参加費等
利息	500円	※自主財源 クラブ通帳
計	5,210,768円	(左金額内の自主財源額 5,210,768円)

## 2 支出の部

科目	予算額	摘要
運営拠点整備費	100,000円	クラブハウス整備費
スポーツ活動費	250,000円	各サークル活動推進費
事業費	100,000円	イベント事業等
管理費	100,000円	管理備品費 印刷機・コピー機リース代 等
保険費	10,000円	イベント等保険費
会議費	25,000円	総会・運営委員会等
その他経費	50,000円	雑費
自主財源	4,575,768円	
基金	0円	
計	5,210,768円	



H30年度 事業計画書  
 <朝日ヶ丘スポーツクラブ21>

1、指定小学校区

「朝日ヶ丘小学校」校区

2、活動拠点となるクラブハウス設置場所

芦屋市立朝日ヶ丘小学校 2F 205号室

3、スポーツ活動を行う施設名

朝日ヶ丘小学校 グランド及び体育館

4、上記施設以外の他の連携する施設

朝日ヶ丘幼稚園 遊戯室及び空き教室

5、運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

〔総 会〕

役 員 会	人 数
会 長	1名
副 会 長	1名
総務担当	2名
広報担当	2名
会計担当	2名
監査役	2名
幹 事	9名
合 計	19名

運営委員会	人 数	所 属
運営委員長	1名	役員会
運営委員	22名	体育部
運営委員	1名	文化部
運営委員	1名	PTA
運営委員	2名	地 域
合 計	27名	

尚、役員会及び運営委員会の開催は年6回(2ヶ月単位)とするが、会長・委員長の養成に

じて随時に臨時委員会を開催できるものとする。

6、クラブ設立年月日

平成14年10月5日 (スポーツクラブ21発足總會)

7、運営委員会等の開催と協議内容

実施時期	事 項	内 容 等
毎月1回	運営委員会	クラブ運営全般
平成30年4月23日	總會	平成29年度事業及び決算報告 平成30年度事業計画、予算の承認
平成31年3月末予定	監査	会計監査

8、クラブ名、会員予定数(性別、年齢構成)及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	活 動 種 目
朝日ヶ丘 スポーツクラブ21	228人(男性124人 女性104人)	・サッカー
	～10歳 52人 18人	・野球 ・卓球
	～20歳 36人 6人	・ミニバスケットボール
	～30歳 1人 0人	・ミニテニス ・なわとび
	～40歳 15人 6人	・空手道
	～50歳 5人 10人	・クォーターテニス
	～60歳 7人 3人	・健康体操
61歳以上 8人 61人	・バドミントン ・フラダンス	

9、配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格	資格別人数	指導者の資格	資格別人数
日体協公認スポーツ指導員	2名	日本空手道系洲会範士九段	1名
日体協公認ジュニアスポーツ指導員	1名	日本空手道系洲会範士七段	1名
軟式野球連盟審判員	1名	全日本空手道連盟公認三段	1名
JFA公認3級公式審判員資格	2名	公式審判員(フットボール)	1名
JFA公認4級公式審判員資格	3名	地域スポーツ指導員	1名
JFA公認D級指導者	4名	公認障害者スポーツ指導員(初級)	1名
JFA公認キッズリーダー	2名	公認新体力テスト判定員	1名
JBA公認D級コーチ	2名	芦屋市スポーツリーダー	5名
JBA公認審判D級ライセンス	1名	地元有志	3名
JBA公認審判E級ライセンス	2名	合 計	40名

10、実施を予定する事業内容

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
スポーツ活動 ・サッカー ・野球 ・ミニバスケットボール ・ミニテニス ・空手道 ・卓球 ・卓球（子ども） ・クォーターテニス ・バドミントン ・健康体操 ・フラダンス ・なわとび	週1回定期的に練習を行い専門的知識及び技術の習得にあたる	毎週土・日曜日 毎週土・日曜日 毎週火・金・土曜日 毎週火曜日 毎週月・木曜日 毎週土曜日 毎週水曜日 毎週日・水・土曜日 毎週日曜日 毎週木曜日 毎週火曜日 毎週火曜日	会員	49人 30人 19人 17人 17人 7人 11人 28人 5人 23人 9人 13人	小学校 グラウンド 体育館 等 幼稚園遊戯室 ゆうゆうクラブ
スポーツ教室 ・野球 ・サッカー ・バスケ ・テニス ・空手 ・なわとび ・卓球	未経験者や初心者に基礎、基本を学んでもらうことにより、スポーツの楽しさを実感してもらう	年1～2回	会員 地域住民		小学校 グラウンド 体育館 等
クラブ内交流会	会員相互の交流を図るためのスポーツ大会等の開催	各クラブが独自に開催 年1～2回	会員		小学校 グラウンド 体育館 等
イベント ・朝小運動会 ・夏まつり ・コミスクDAY ・もちつき大会	イベントを通して3世代交流を図る	5月26日（土） 7月22日（日） 9月30日（日） 12月2日（日）	会員 地域住民		小学校 グラウンド
広報活動	幅広くクラブへの参加をよびかけるため広報紙やチラシの作成配布	年2回	地域住民		

## 平成30年度収支予算書

1 収入の部 クラブ名：(スポーツクラブ21打出浜)

科目	予算額	摘要
補助金	0 円	25年度終了の為
前年度繰越金	2,597,455	
会費	250,000	年会費1,000円×250人
イベント参加料	100,000	ファンラン護身術他
利息	15	預金利息
雑収入	50,000	物販販売・コミスク共催事業
計	2,997,470	

## 2 支出の部

科目	予算額	摘要
スポーツ活動費	200,000 円	ラインパウダー他
事業費	300,000	ファンラン・秋まつり 他
広報活動費	30,000	広報紙印刷代
会議費	40,000	打合せ等経費他
事務管理費	40,000	文具・消耗品他
整備費	100,000	整備費・備品修繕費
雑費	3,000	振込手数料料他
次年度繰越金	2,284,470	
計	2,997,470	

SC21  
打出浜

事業計画書

- 1 指定小学校区  
芦屋市立打出浜小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所(連絡先〔TEL、FAX〕)  
芦屋市新浜町8番2号
- 3 スポーツ活動を行う施設名  
打出浜小学校体育館・運動場
- 4 上記施設以外に連携する施設名  
兵庫県立海洋体育館・
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要  
運営組織図 別途添付
- 6 設立年月日  
平成14年10月26日
- 7 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項	内容等
毎月1回	幹事会	活動企画等の承認
〃	事務局会議	事業の企画立案
年4回	広報委員会	広報紙作成
適宜	事業・研修会	地域事業・研修会等の企画

8 クラブ名、会員予定人数(性別、年齢構成)及び予定する種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)			活動種目
スポーツクラブ 21 打出浜 (クラブ数13)	250人(男性 180人 女性 70人)			・野球・少年サッカー ・成人サッカー・剣道 ・ソフトバレー・空手 ・卓球・ミニバドミントン ・成人バドミントン ・ミニバスケット ・カヌー・健康体操 ・クォーターテニス ・グリーンクラブ(皮バレー)
	～10歳	90	10	
	～20歳	40	15	
	～30歳	0	0	
	～40歳	9	0	
	～50歳	15	8	
	～60歳	10	20	
	61歳～	16	17	

9 配置する指導者の資格名と資格別人数

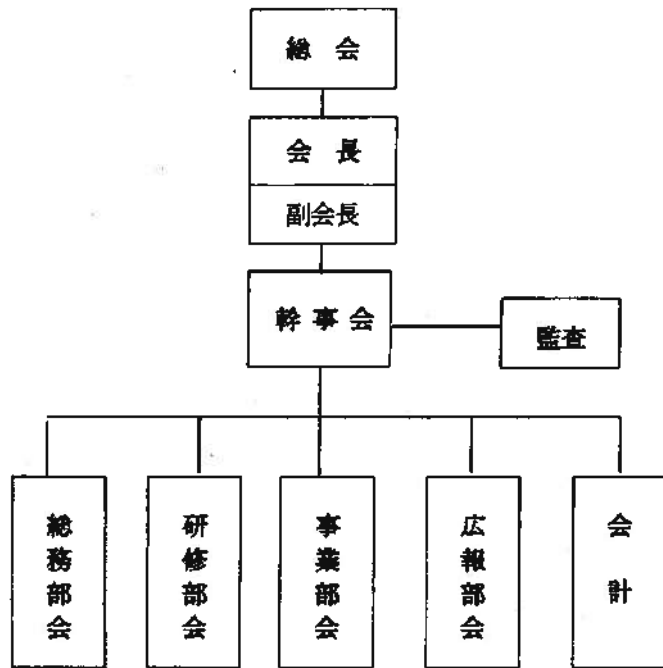
指導者の資格名	資格別人数
公認資格者	34人
地元有志	20人

10 実施を予定する事業内容(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
総会	役員決定 年間行事決定 予算決定	日30年5月125日 日	運営委員 新・旧	60名 新・旧	クラブハウス
各クラブ活動	週1回以上練習等実施、スポーツの特性を学び技術の向上を図る	毎月の施設使用申請書にもとづく	登録者	250名	運動場 体育館 クラブハウス
救急救命講習会	役員決定 年間行事決定 予算決定	日30年7月中旬 予定	登録者	20名	クラブハウス

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
芦屋ドラゴンポートレースに参加	違うスポーツを通じて団結力を養う	日30年7月29日	小学生クラブチーム	20人	芦屋キャナルパーク
打出浜コミスク秋まつり開催	スポーツに親しみをもちよう出店 ファミリーゲーム	日30日年10月下旬 予定	地域の住民	200名	体育館
市民スポーツフェスタに参加(推進委員会主催)	スポーツに親しみを企画に参加	日30年10月中旬 予定	空手クラブ	20人	ベデストリアンデッキ
打出浜ファンラン2018	地域住民が持続的にスポーツに関わるきっかけ作り	日30日年11月下旬 予定	地域の住民	150名	運動場～芦屋市マラソンコース
コミスク三世代交流 クロリティ大会に開催	地域住民三世代が、ニュースポーツ通して交流を図る	日31年1月中旬 予定	地域の住民	約120名	体育館
新年互例会	各クラブと地域役員の親睦会	日31年1月中旬 予定	指導者・幹事・自治会役員	35人	おどわ
スポーツ・コミスク活動展	各クラブ活動を紙面に展示紹介	日31年2月上旬 3日間予定	各クラブ	14登録団体	体育館・通路の壁
阪神地区交流フェスティバル	阪神地区の交流イベント	日31年3月9日	7市1町参加者	30名	芦屋大学グラウンド 青少年センター

5. スポーツクラブ21打出浜 運営組織図



役職	氏名	住所	電話	所属
会長				芦屋市カヌークラブ
副会長				打出浜FC
副会長				打出浜小学校教頭
会計				クォーターテニス
会計				健康体操
総務部部长				健康体操
広報部部长				打出浜FC
研修部部长				健康体操
事業部部长				健康体操
監査				前会計
監査				前コミスク会計

## 収 支 予 算 書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

# 岩園

## SC21

## 1 収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
助 成 金	5,157,757 円	市推進委員会事務局より 前年度基金残
自主財源積立金	4,760,797 円	前年度積立金残
会 費	190,000 円	年会費：@200 円×500 人 活動拠点維持費：@300 円×300 人
雑 収 入	100,000 円	講座参加費、広報広告料、 印刷機使用料 等
銀 行 利 息	0 円	
計	10,208,554 円	(左欄金額内の自主財源額： 4,760,797 円)

## 2 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
運 営 拠 点 整 備 費	1,000,000 円	管理整備費
スポーツ用品 購入・修理費	500,000 円	各種スポーツ用品費・修理費
事 業 費	220,000 円	スポーツ大会、講師謝金 等
運 営 費	50,000 円	事務・会議費、通信費、研修費 等
広 報 活 動 費	70,000 円	広報紙発行(6000部/1回)を 年2回発行、記録写真 等
基 金	8,368,554 円	基金積立、自主財源積立
計	10,208,554 円	(左欄金額内の自主財源額： 4,760,797 円)

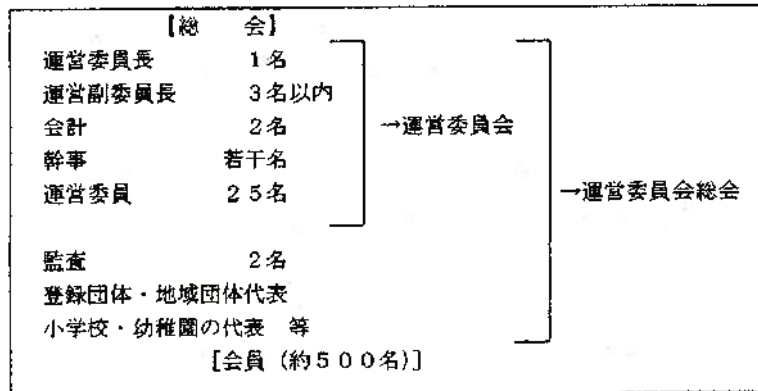
(注) 収支の計は、それぞれ一致する。

付記 専門種目の定例サークル活動参加者は、上記の『会費』の他に、サークル毎に規定の会費(スポーツ保険費用を含む)を納め、それによりサークル活動は、自主運営されます。その会費は、サークル内責任者によって管理されます。

# 岩園スポーツクラブ 21

## 事業計画書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

- 1 指定小学校区 芦屋市立岩園小学校区
- 2 活動拠点となるクラブハウス設置場所  
芦屋市立岩園小学校内 岩園コミュニティ・スクール事務室  
[住 所] 芦屋市岩園町23-41
- 3 スポーツ活動を行う施設名とその概要 (参考資料添付)  
芦屋市立岩園小学校 グランド 及び 体育館
- 4 上記以外の他の連携する施設名  
芦屋市立岩園幼稚園
- 5 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図概要



- 6 クラブ設立年月日 平成14年11月21日

## 7 クラブ育成に向けての年間計画概要

実施時期	事項・内容等	
毎月1回程度	運営委員会	クラブ運営全般
平成30年4月19日	運営委員会総会	平成29年度事業及び決算報告 平成30年度事業計画、予算案の 審議・承認、役員選出 等
平成31年4月1日	監査	会計監査

## 8 クラブ会員予定人数 (年齢構成) 及び 予定する種目

クラブ名	クラブ会員数	予定する種目
岩園スポーツクラブ21	0才～10才 (200名)	テニス・健康体操・剣道
	11才～20才 (60名)	卓球・空手・サッカー
	21才～30才 (10名)	少年少女野球・婦人バレー・バスケット・ミニバ
	31才～40才 (30名)	ケット・クォーターテ
	41才～50才 (50名)	ニス・日舞・囲碁・ダン
	51才～60才 (50名)	ス・(水泳)
	61才以上 (100名)	

## 9 配置する指導者の資格と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
日本体育協会公認A級指導員	1名
日本体操協会公認体操マスター指導員	1名
公認体力テスト判定員	1名
芦屋市スポーツリーダー	1名
剣道範士 八段	1名
剣道教士 七段	1名
剣道錬士 七段	2名
剣道錬士 五段	1名
全日本空手道 松剛館公認指導員	3名
日本サッカー協会公認D級指導員	1名
兵庫県サッカー協会3級審判員	1名
兵庫県サッカー協会4級審判員	1名
キッズリーダー	1名

兵庫県家庭婦人バレーボール認定審判員	6名
日本体育協会公認B級指導員(バレーボール)	1名
JBA公認E-1級	2名
地元有志	15名

10 実施を予定する事業内容

専門種目のサークル活動	開催回数・活動日	対象者	参加人数	開催施設
テニス	週1回(日)	会員	29名	グラウンド
健康体操	週1回(水)	会員	20名	幼稚園遊戯室
剣道	週3回(日・月・木)	会員	23名	体育館
卓球	週1回(土)	会員	17名	体育館
空手	週1回(金)	会員	20名	体育館
サッカー	週2回 (日・木)	会員	67名	グラウンド
少年・少女野球	週1回(土)	会員	51名	グラウンド
婦人バレーボール	週2回(土)	会員	12名	体育館
バスケット	週1回(日)	会員	27名	体育館
ミニバスケット	週3回 (火・金・土)	会員	37名	体育館
クォーターテニス	週2回(水・土)	会員	22名	体育館
ダンス	月2回(第2・第4木)	会員	20名	体育館
日舞	月1回(第4火)	会員	18名	コミスク室
囲碁	週1回(木)	会員	22名	ミーティング室

○上記種目のサークルは、週1～3回、定期的な練習を行い専門的知識及び技術の習得に当たっています。

○参加人数は、参考人数として前年度の登録人数を記載。

今年度は、現在募集中です。

○子ども育成のための指導者・世話役等も含まれています。

実施事業名	ねらい等	開催回数・日時	対象者	参加人数	開催施設
オープン・スクール	専門種目の一日体験入門講座	上記の各サークルが年1～2回開催	地域住民	延べ100名程度	グラウンド、体育館、ミーティング室

救急蘇生法講習会		平成30年 6月下旬	会員 地域住民	40名	クラブハウス
夏休みプール開放	○児童を対象とした水泳教室 ○サークル開放	平成30年 7月下旬	小学生会員	水泳教室は、1日当たり80名程度	岩小プール
いわぞの秋祭り	○地域交流事業の中でSC21活動のPR ○スポーツサークルの発表&体験コーナー	平成30年 10月21日	会員 地域住民	1,000名	グラウンド
多世代交流スポーツ大会	会員相互の交流を図るためのスポーツ大会	平成30年 5月下旬 または12月上旬	会員	100名	体育館 又は グラウンド
ふれあい広場いわぞの活動展	「岩園SC21」活動の発表と啓蒙	平成31年 1月下旬	会員 地域住民		校舎2F ラウンジ
ニュースポーツ体験会	活動展開促進時にニュースポーツ体験コーナーを設ける	平成31年 2月初旬			校舎2F テラス
1.17は忘れない地域防災訓練	地域の自主防災会と連携しての防災訓練	平成31年 2月9日	地域住民		校区及び 岩小
クリーン作戦	いつも使用している学校施設を一斉清掃	平成31年 2月23日	会員 地域住民	200名	体育館棟及び校舎開放ゾーン等
広報活動	幅広くクラブへの参加を呼びかけるため広報紙や行事案内チラシ・ポスター作成 配付・掲示	○広報紙は7月と3月に地域全世帯に配付。 ○チラシ・ポスターは必要に応じ配付・掲示 (地域内全世帯)			



この他に

○ニーズにあわせ、研修会・各種講座等を開催

上記のすべての事業推進にあたり

◎『定例運営委員会』（毎月1回）の他に、各事業実施に伴う企画・準備会を開催しています。

# SC21 精道

別記(準用)

(クラブ名)スポーツクラブ21精道

## 収支予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

### 1 収入の部

科目	予算額	摘要
助成金	4,024,412円	市推進委員会事務局より (前年度基金残より 4,024,412円)
クラブ財源金	2,105,065円	*自主財源 前年度繰越金
年会費	60,000円	*自主財源 200円×300人分
活動費	30,000円	*自主財源 事業参加費
使用料	100,000円	*自主財源 印刷機使用料
雑収入	5,000円	*自主財源 預金利息等
計	6,324,477円	(左金額内の自主財源額 2,300,065円)

### 2 支出の部

科目	予算額	摘要
拠点整備費	100,000円	*自主財源 0円 施設整備費
運営費	320,000円	*自主財源 20,000円 3世代交流スポーツ大会、オープンスクール等
備品費	500,000円	*自主財源 0円 備品購入費
諸謝金	300,000円	*自主財源 0円 講師謝金等
事務管理費	120,000円	*自主財源 20,000円 会議費等
消耗品費	110,000円	*自主財源 10,000円 消耗品費
印刷製本費	100,000円	*自主財源 0円 広報紙等印刷費
自主財源	2,250,065円	次年度繰越金
基金	2,524,412円	次年度繰越金
計	6,324,477円	

事業計画書

- 指定小学校区  
精道小学校区
- 活動拠点となるクラブハウス設置場所（連絡先〔TEL、FAX〕）  
芦屋市精道町B-25 芦屋市立精道小学校内  
精道コミュニティスクール・スポーツクラブ21事務室
- スポーツ活動を行う施設名  
精道小学校 グランド・体育館・ランチルーム
- 上記施設以外に連携する施設名  
なし
- 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図  
スポーツクラブ21精道

会長	1人	登録団体	
副会長	1人	団体	9
会計	2人		(290人)
理事	若干名	個人会員	
監事	2人		(10人)
(役員会)		(代議員総会)	

300人(30年度会員)

- クラブ設立年月日  
平成15年11月6日（設立総会 平成16年1月31日）

7 運営委員会等の開催と協議内容

委員委嘱数	使用会場名	備 考
12人	精道小学校内コミスク・スポーツクラブ21事務室	
(委員会の主な内容)		
・平成30年度実施事業の内容検討(オープンスクール・三世代交流スポーツ大会・その他)		
・スポーツクラブ21精道の運営方針の検討		
・平成31年度総会準備		

8 クラブ名、会員数(性別、年齢構成)及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数(性別、年齢構成)	活動種目
スポーツクラブ21精道 (愛称:ブルーバイン)	会員数300人(男180人・女120人) 小学生以下 120人 中高生 30人 成人 150人	野球・サッカー・バレーボール・バドミントン・なわとび・健康体操・バスケットボール・空手・ダーツ (活動休止)

9 配置予定の指導者の資格名と資格別人数 ※できるだけ詳しく記入する。

指導者の資格名	資格別人数
全日本軟式野球連盟審判員2級	1人
日本サッカー協会C級コーチ	2人
日本サッカー協会D級コーチ	4人
日本サッカー協会3級審判員	2人
日本サッカー協会4級審判員	3人
兵庫県バレーボール連盟B級審判員	6人
日本バドミントン協会公認3級審判員	2人
国際なわとび競技連盟 国際審判員	2人
国際なわとび競技連盟公認審判員	4人

10 実施する事業内容(事業ごとにそのねらいや対象者、実施回数等を具体的に記入する。)

実施事業名	ねらい等	開催回数・日数	対象者	参加人数	開催施設
スポーツ啓発活動の実施	スポーツ活動に誰もが気軽に参加し、身体を動かすことの楽しみを見つけ、スポーツを通じたコミュニケーションを通して地域の活性化を図る。	年3回	会員 地域住民	1回30人	体育館 運動場
専門部活動の実施	各種目別の各専門部のスポーツ活動を定期的に行い、専門知識の向上と技術の向上を図り、併せて相互の親睦を深める。各種の大会等に参加する。	毎日(活動日)	会員	290人	体育館 運動場
コミスク活動への参加	スポーツクラブ21精道の母体となる精道コミスクの事業に協賛・参加し、スポーツクラブの広報、啓発を図る。	年2回 夏祭り・精道フェスティバル	地域住民	1,000人	運動場 体育館
広報活動	年2回スポーツクラブ21精道の広報誌を作成し、精道小学校校区内の全家庭に配布し、スポーツクラブの周知を図る。		地域住民	5,500世帯	

# 浜風 S C 2 1

別記

クラブ名 浜風スポーツクラブ21

## 平成30年度予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

### 1 収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
基 金	933,557 円	前年度繰越金
自 主 財 源	589,890	前年度繰越金
会 費	40,000	年会費200円×200人
傷害保険料	0	
利 息	15	基金通帳・自主財源通帳
計	1,563,462	

### 2 支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
運営拠点(クラブハウス) 整備費	100,000 円	クラブハウス整備・修繕
消 耗 品 費	50,000	消耗品
諸 謝 金	50,000	護身術、体育教室など指導者謝金
事 務 管 理 費	50,000	事務用品、通信費、振込み手数料など
クラブハウス 維持費	0	光熱水費、電話代等
運 営 費	100,000	地域交流事業など運営経費、会議費、会費、
備 品 費	250,000	各種スポーツ用具購入など
印刷製本費	200,000	広報誌、用紙、トナー、マスター、インク代等
基 金	133,557	次年度繰越金
自主財源	629,905	次年度繰越金
計	1,563,462	

## 平成30年度事業計画書

1. 指定小学校区

芦屋市立浜風小学校区

2. 活動拠点となるクラブハウス設置場所

芦屋市浜風町1-1 浜風市立浜風小学校体育館の北側の部屋

3. スポーツ活動を行う施設名

浜風小学校グラウンド・体育館・会議室・ランチルーム・更衣室

4. 上記施設以外に連携した施設名

芦屋市立青少年センター体育館・川西グラウンド・新浜公園

5. 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織図

総会		
会長	1名	理事会
副会長	3名	
会計	2名	
理事	若干名	
監事	若干名	

6. クラブ設立年月日

平成15年12月18日

7. 運営委員会などの開催と協議内容

委員委嘱数	開催回数	1回あたりの出席者数	開催場所	備考
30	12回	26人	会議室	理事会
委員募集、事業計画、会計、施設使用調整、購入備品、保険について検討				
クラブ間、地域団体との情報交換、連絡調整など スポーツイベントなどの企画				

8. クラブ名、会員数及び活動した種目

クラブ名	クラブ会員数		活動種目
	200人(男性 133人、女性 67人)		
浜風スポーツクラブ21	～10歳	63	少年少女野球、ゲートボール
	～20歳	2	成人ソフトボール、空手、気功
	～30歳	10	カローリング、フットサル、
	～40歳	21	ママさんバレーボール、
	～50歳	17	少年少女サッカー
	61歳～	7	スポンジボールテニス
	61歳～	13	ミニバスケットボール

9. 配置した指導者の資格名と資格別人数

指導者の資格名	資格別人数
サッカーC級ライセンス	1
サッカー審判4級	7
フットサル審判3級	2
兵庫県ソフトボール協会指導員	1
少林寺流空手道連盟錬心士6段教士	1
同 2段指導員	1
剛心流空手道松剛館指導室2段	1
同 4段	1
日本健身気功協会指導員	1
県公認バレーボール審判	4
地域指導員	30

10. 実施予定事業内容

実施事業名	開催回数・日数	ねらいなど	対象者	参加者数	開催場所
各クラブ活動	週1～4日	スポーツ活動	会員	200	グラウンド、体育館
プール開放	校舎改修のため中止				プール
ラジオ体操	7月21～31日	健康増進	地域住民	延べ1000	グラウンド
空手道護身術講習会	秋ごろ	護身術体験	地域住民	60	体育館
交流スポーツ大会	4月21日	ウオーラリー 風船バレー 公式ワナゲ 他	地域住民	300	グラウンド・体育館
芦屋浜夏祭り参加	7月28日	地域交流	地域住民	—	中央公園
サマーカーニバル協力	7月21日	地域交流	地域住民	—	総合公園周辺
ドラゴンボート大会参加・協力	7月29日	地域交流	地域住民	—	キャナルパーク
広報誌発行	年2回	広報活動	地域住民	3500	全戸配布
地域防災訓練協力	未定	地域交流・防災	地域住民	500	芦屋市内
浜風小学校清掃	9月予定	清掃	会員	120	浜風小学校
各種体験教室	随時	体験	地域住民		グラウンド、体育館

兵庫県教育委員会 様

住 所 芦屋市川西町  
団 体 名 スポーツクラブ21  
芦屋市推進委員会  
代表者名 本野

### 基金報告書

地域スポーツ活動支援事業にかかる「スポーツクラブ21ひょうご」運営等基金の状況を補助事業実施要項第18の規定により下記のとおり報告します。

記

スポーツクラブ名称	前年度末基金残額	本年度基金取崩し額	本年度末基金残額	備考
三糸スポーツクラブ21	1,720,938	129,783	1,591,155	H12
スポーツクラブ21潮見	2,080,167	106,830	1,973,337	H13
スポーツクラブ21宮川	0	0	0	H13
スポーツクラブ21YAMATE	2,513,472	296,987	2,216,485	H13
朝日ヶ丘スポーツクラブ21	2,775	2,775	0	H14
スポーツクラブ21打出浜	0	0	0	H14
岩園スポーツクラブ21	5,319,203	161,446	5,157,757	H14
スポーツクラブ21精道	4,314,137	289,725	4,024,412	H15
浜風スポーツクラブ21	1,090,554	156,997	933,557	H15
合 計	17,041,246	1,144,543	15,896,703	

※ 設立当初と名称を変更している場合は、新スポーツクラブ名（旧スポーツクラブ名）を併記する。

### 地域スポーツクラブ資金状況報告書

事務局名 スポーツクラブ21ひょうご  
芦屋市推進委員会事務局

(平成30年3月31日現在)

設立年度	クラブ名	基金残高	会費・利子等残高	残高計
H12	三糸スポーツクラブ21	1,591,155	614,674	2,205,829
H13	スポーツクラブ21潮見	1,973,337	1,690,884	3,664,221
H13	スポーツクラブ21宮川	0	131,050	131,050
H13	スポーツクラブ21YAMATE	2,216,485	5,216,377	7,432,862
H14	朝日ヶ丘スポーツクラブ21	0	4,940,268	4,940,268
H14	スポーツクラブ21打出浜	0	2,597,455	2,597,455
H14	岩園スポーツクラブ21	5,157,757	4,760,797	9,918,554
H15	スポーツクラブ21精道	4,024,412	2,105,065	6,129,477
H15	浜風スポーツクラブ21	933,557	589,890	1,523,447
	合 計	15,896,703	22,646,460	38,543,163

(注) 基金残額は、基金報告書の額と一致する。

※ 設立当初と名称を変更している場合は、新スポーツクラブ名（旧スポーツクラブ名）と併記する。

三糸スポーツクラブ21

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			***2,203,791
27.06.04		1,000,000		***1,203,791
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		133	***1,203,924
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		106	** **1,204,030
28.03.31	A T M		500,000	** **1,704,030
28.03.31	A T M		216,428	** **1,920,458
28.05.20		1,000,000		*** 920,458
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		9	** *** 920,467
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		4	** *** 920,471
29.03.31	A T M		800,467	** **1,720,938
29.06.02		300,000		** **1,420,938
29.08.14	決算利息 ( 2. 13から 8. 13)		6	** **1,420,944
30.02.13	決算利息 ( 8. 14から 2. 12)		6	** **1,420,950
30.03.30			170,205	** **1,591,155

スポーツクラブ21潮見

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			***2,655,784
27.06.30		510,000		** **2,145,784
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		197	***2,145,981
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		189	** **2,146,170
28.03.31	A T M		174,448	***2,320,618
28.06.30		500,000		** **1,820,618
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		16	** **1,820,634
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		8	** **1,820,642
29.03.31	A T M		259,525	** **2,080,167
29.07.10		500,000		** **1,580,167
29.08.14	決算利息 ( 2. 13から 8. 13)		8	** **1,580,175
30.02.13	決算利息 ( 8. 14から 2. 12)		6	** **1,580,181
30.03.30	A T M		393,156	** **1,973,337

スポーツクラブ21YAMATE

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			***3,361,855
27.06.18		1,042,000		** **2,319,855
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		235	** **2,320,090
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		204	** **2,320,294
28.03.29			574,143	** **2,894,437
28.05.19		1,019,000		** **1,875,437
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		17	** **1,875,454
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		8	** **1,875,462
29.03.28			638,010	** **2,513,472
29.05.26		1,032,000		** **1,481,472
29.08.14	決算利息 ( 2. 13から 8. 13)		8	** **1,481,480
30.02.13	決算利息 ( 8. 14から 2. 12)		6	** **1,481,486
30.03.27			734,999	** **2,216,485

朝日ヶ丘スポーツクラブ21

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
28.06.01	繰越			*** 25,463
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		12	*** 25,475
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		2	*** 25,477
28.03.24	お振込 アサヒヶ丘スポーツクラブ21		137,298	** ** 162,775
28.06.01		160,000		** ** 2,775
29.06.02		2,775		** ** ** 0

岩園スポーツクラブ21

普通預金 ①				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			** **5,756,968
27.06.09		1,860,000		** **3,896,968
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		470	** **3,897,438
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		403	** **3,897,841
28.03.22			1,635,293	** **5,533,134
28.05.17		1,850,000		** **3,683,134
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		35	** **3,683,169
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		18	** **3,683,187
29.03.24			1,636,016	** **5,319,203
29.06.08		1,840,000		** **3,479,203
29.08.14	決算利息 ( 2. 13から 8. 13)		21	** **3,479,224
30.02.13	決算利息 ( 8. 14から 2. 12)		17	** **3,479,241
30.03.14		58)	1,678,516	** **5,157,757

スポーツクラブ21精道

普通預金 ①				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			** **4,971,082
27.06.02		1,400,000		** **3,571,082
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		321	** **3,571,403
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		313	** **3,571,716
28.03.29			1,090,653	** **4,662,369
28.05.23		1,400,000		** **3,262,369
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		27	** **3,262,396
29.02.13	決算利息 ( 8. 15から 2. 12)		14	** **3,262,410
29.03.28			1,051,727	** **4,314,137
29.06.01		1,400,000		** **2,914,137
29.08.14	決算利息 ( 2. 13から 8. 13)		15	** **2,914,152
30.02.13	決算利息 ( 8. 14から 2. 12)		12	** **2,914,164
30.03.26			1,110,248	** **4,024,412

浜風スポーツクラブ21

普通預金 ①				
年月日	摘要	お支払金額 円	お預り金額 円	差引残高 円
27.05.22	繰越			** **1,617,890
27.06.16		1,100,000	86)	** **517,890
27.08.10	決算利息 ( 2. 9から 8. 9)		93	** **517,983
28.02.15	決算利息 ( 8. 10から 2. 14)		45	** **518,028
28.03.28	お振込 ハマカセ"スポ"ーツクラブ"ニシ"1		767,061	** **1,285,089
28.06.27		1,100,000	86)	** **185,089
28.08.15	決算利息 ( 2. 15から 8. 14)		5	** **185,094
29.03.27	お振込 ハマカセ"スポ"ーツクラブ"ニシ"1		905,460	** **1,090,554
29.06.08		800,000	86)	** **290,554
29.08.14	決算利息 ( 2. 13から 8. 13)		2	** **290,556
30.02.13	決算利息 ( 8. 14から 2. 12)		1	** **290,557
30.03.26	お振込 ハマカセ"スポ"ーツクラブ"ニシ"1		643,000	** **933,557



「スポーツクラブ21ひょうご」

クラブ育成チェック表一覧・運営上の課題・悩みや将来の構想等

運営上の課題・悩みや将来の構想等

三条スポーツクラブ21	スポーツクラブ21潮見	宮川スポーツクラブ21
平成30年度	平成30年度	平成30年度
<p>ホームグラウンドが山手中学校新校舎建設でなくなってしまい、山手中学校第1グラウンドを使用しているが、中学校の部活動優先にしているため、毎月第4日曜のみの利用しかできない状態。室内で簡単にできるニュースポーツ競技等を考えるが、坂がきつく、公共交通機関のない三条コミスク室や山手中学校第2体育館への参加者はほとんどおらず、人が集まらない。</p>	<p>子どもを対象にした既存のクラブ活動は活発に行われて会員も緩やかに増える傾向だが、大人のサークルについては会員増が見込めない状況である。併せて、役員の世代交代がスムーズに進めることができるよう努力している。</p>	<p>現在のSC21は従来のコミスク活動の延長線上にあり、本来の「スポーツクラブ構想」とは違いはあるが、小学校を拠点とし、スポーツを通じて地域の活性化につながることを期待する。なお、現実問題としては施設や使用時間、そして指導者の確保が限られており、他のスポーツクラブとの連携や協力で、施設・時間の有効活用をはかる検討も必要かと考える。</p>
スポーツクラブ21YAMATE	朝日ヶ丘スポーツクラブ21	スポーツクラブ21打出浜
平成30年度	平成30年度	平成30年度
<p>山手小学校体育館での活動が音の問題で近隣から苦情を受けている。また夏場は風通しが悪く、活動する上で支障をきたしている。将来的には前記の悪条件をクリアする建物環境を実現していただきたい。</p>	<p>今年度は、市営住宅や公社住宅の移転があり、長年スポーツクラブ21に親しんでこられた方々が転居されるので、クラブによっては人数が減り存続ができなくなるクラブが出てきている。また、人口減の上、高齢化に伴う身体の不調で今年度活動休止のクラブも出てきている。また、小学校の生徒数の減少、幼稚園の廃園予定による幼児の減少など、地域によっては手痛い状況となっている。そのため、新規サークル立上げなど工夫をして、新メンバー獲得の努力中である。</p>	<p>特に子どもに人気のクラブは参加率が多いが、ミニバドミントン、空手、剣道は参加者が減少している。そのため、クラブ維持のための会費値上げも視野に入れながらの活動をしている。自分のクラブにないサークルに入部希望がくるが、どこまで受け入れるのか悩ましいところでもある。</p>
岩園スポーツクラブ21	スポーツクラブ21精道	スポーツクラブ21浜風
平成30年度	平成30年度	平成30年度
<p>小学校の児童数は増加しているが、子どもたちが放課後に過ごす場所が多岐にわたるようになり、児童の参加率が低下してきているように思う。また、大人に関しては、定年後に再就職される方々が増えて、60歳過ぎの方の活動参加率も低下しているように思う。全体運営の担い手のことと共に考えなければならない課題。</p>	<p>設立当初からの役員が高齢化してきており、世代交代が上手くいっていない。役員が変わらない中で活動を続けていくことが難しくなっている。</p>	<p>そろそろコピー機・印刷機の調子がわるくなってきた。買い替え用に積立もしているが、いつ買い替えるか、新品か、中古か、コピー機も必要か悩むところ。また、種目について、女の子用には練習のきびしいミニバスしかない（空手、野球、サッカーは入れるが）チアダンスやジャズダンス等、楽しそうな種目があればいいと思う。</p>

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		三条スポーツクラブ21											
年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
クラブ会員		550人		465		430人		450人		448人		340人	
上記会員の内週一回程度の実践者		70人		80		160人		150人		100人		60人	
当該地域の人口		8,336人		8,309		8,376人		8,170人		8,264人		8,330人	
加入率		6.59%		5.60%		5.16%		5.51%		5.42%		4.08%	
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多様目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	子ども、中高年対象の種目	3	硬式テニス、卓球のみ	3	少ないが出来ている	3	維持できている。	3	サークル数が少ない。	1	中学校施設を利用のため、部活動優先。使用できる日、時間が少ない。	1
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	運動会、スポーツ講習会で異世代交流を実施	4	異世代交流を目的とした運動会やニュースポーツ講習会、ラジオ体操を開催	4	運動会、ラジオ体操、公式わなげ等開催している	4	運動会、ラジオ体操、単発講習会等を開催している。	4	多世代交流できるスポーツに取り組んでいる。	1	夏休み期間のラジオ体操ラリー、運動会、公式ワナゲ講習会のみ。	3
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	活動体制はとれていると思う	3	少年野球、少年サッカー、婦人バレーボール等 世代に分かれている	2	一部多世代になっていないクラブもある	2	各クラブにより世代が分かれている。	2	特になし	3	夏休みラジオ体操時の指導のみ。	1
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	使用に問題はないが、プレハブで老朽化が気になる	2	プレハブ2階建て。1階体育倉庫、2階クラブハウスとして利用。老朽化。	2	クラブハウスはあるが老朽化が著しい	2	利用している。	2	活動拠点の中学運動場に新校舎建設の為、6月末でクラブハウス取り壊し。	1	中学校新校舎建設のため、29年7月に解体された。	1
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	とっている	5	年会費と基金で運営。クラブ内サークルは月会費徴収し、自主運営。	4	出来ている。クラブ内サークルは自主運営	4	出来ている。	4	特になし	5	各サークル毎に自主運営。	4
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	ある程度整っている	4	クラブ内サークル会員は、保険加入、月会費等 整っている。	4	整っている	4	整っている。	4	サークル毎に年会費、月会費を集めて自主運営。	5	各サークル毎に会費を集め自主運営。	4
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	連携は図られている	4	中学校施設使用の為、中学校部活との日程調整。	4	中学校施設使用の為、中学校部活との日程調整をしている	4	中学校施設利用のため部活動との日程調整を図っている。	5	卓球クラブに関しては、中学校部活後の時間を使用するため、中学生も参加。	3	特になし	1
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	会員年会費のみが収入源	4	基金 + 21会員年会費の収入。	4	基金と年会費	4	基金と年会費	4	例年、スポーツクラブ会員1年100円×約500名が自主財源。	3	特になし	4
広報	クラブの情報を積極的に発信している	年6回 地域行事案内とともに発行	3	年6回発行のコミスクだよりで情報発信、事業告知。	4	コミスク便りなどで発信している	4	コミスク便りにて発信	4	行事お知らせチラシの配布。	2	広報担当が不在。	1
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	サークルごとに他のクラブとの連携・交流有り	3	サークルごとには交流試合等で図られている。	3	サークルによっては交流試合等をしている	3	サークル毎に他クラブとの交流がある。	3	特になし	1	他クラブサークルとのサークル間の交流あり。	2
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	高齢者の参加が増えた	4	単発のスポーツ教室や講習会に楽しんで参加してもらえらる。	5	単発事業に多数の参加者がある	4	多世代に渡り参加者がある。	3	夏のラジオ体操参加には早起き、健康の自己管理等、参加者が気付いている。	3	スポーツ21の事業参加時、会員証を首から下げたの参加者が増えた。	3
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	わからない	2	わからない。	1	わからない	1	わからない。	1	特になし	1	特になし	1
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	スポーツ行事が地域交流行事となり、老若男女の参加が増えた	4	夏休みに開催の約30日間のラジオ体操では、人と人、地域交流の活性化。	4	夏休みのラジオ体操、運動会では多世代交流がみられる	4	ラジオ体操、運動会等では多数参加がある。	4	交流事業には積極的に高齢者の参加が増え、元気な高齢者が多い地域。	4	夏のラジオ体操ラリーではおはよう交流が盛んになった。	4

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		スポーツクラブ21潮見											
年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度						
クラブ会員		309人	233	288人	280人	270人	251人						
上記会員の内週一回程度の実践者		300人	233	288人	280人	270人	251人						
当該地域の人口		11,190人	11,200	11,303人	11,244人	11,293人	11,406人						
加入率		2.76%	2.08%	2.55%	2.49%	2.39%	2.20%						
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価		
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	できている(13種目)	5	会員は多種目に参加で出来る体制をとっている。	5	会員は多種目を選択できる	5	出来ている	5	できている	5	希望があれば選択できる。	5
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	4	子供から大人まで世代に応じた活動を行っている。	5	世代に応じた活動を行っている	5	年代別の活動を行っている	5	年代別の活動を行っている	5	現状のクラブ活動ではできている。	4
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	クラブにみあった活動体制はとれている	3	各クラブにみあった体制をとっている。	3	各種目で活動出来ている	3	各種目団体で行っている	4	各種目団体で行っている	5	その方向。	3
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	今のところ問題なしが空き教室借用なので児童が増えたときどうするか	4	学校の空き教室を利用している。	5	学校の空き教室を利用している	5	学校の空き教室を利用出来ている	5	現在のところ学校の空き教室を利用	5	出来ている。	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	とっている	5	各クラブは自主運営出来ている。	5	各種目クラブで自主運営出来ている	5	各種目団体で行っている	5	各種目団体で行っている	5	各種目はできている。	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	徐々に整ってきている	4	徐々にその体制に向け、進めている。	4	整えている	4	会員の意識が高まり徐々に整ってきている	5	徐々に整ってきている	3	以前に比べると進歩している。	5
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	多に図れている	5	連携、情報交換は図られている。	5	情報交換や協力体制は図られている	5	おおむね図られている	5	ほぼ図られている	4	かなり連携は図られている。	4
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	基金が垂悪までに計算できるように収入増を画策中	4	十分ではないが進めている。	4	十分ではないが進めている	4	十分ではないが進めている	4	ある程度できている	3	徐々にできている。	4
広報	クラブの情報を積極的に発信している	これまでと同じ	3	広報紙や、チラシなど地域に発信している。	4	広報紙や案内チラシを地域に発信している	5	事業案内など地域に発信している	4	広報紙の配布、行事案内を発信している	4	行事案内、広報誌を発行している。	5
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	地域事業においてはある程度図られている	4	必要に応じて。	4	必要に応じて行っている	4	必要に応じて行っている	4	必要に応じて交流している	4	だいたいできている。	4
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	最近市域事業の参加者が増加の傾向	3	特に変化なし。	3	特に大きな変化はみられない	3	現状維持	3	現状と変わらず	3	特に見られない。	2
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	あまり感じない	2	特に変化なし。	3	変化なし	3	特に変化無し	3	特になし	3	分かりません。	3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	地域事業においては校区内自治会や管理組合が常に協力	4	特に変化なし。	3	変化なし	3	変化なし	3	特になし	3	特に変わりない。	3

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		スポーツクラブ21宮川											
年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度						
クラブ会員		168人	165	167人	177人	167人	107人						
上記会員の内週一回程度の実践者		11人	15	13人	19人	13人	20人						
当該地域の人口		11,732人	11,749	10,654人	11,853人	11,821人	11,883人						
加入率		1.43%	1.40%	1.57%	1.49%	1.41%	0.90%						
要因	細目	現状	現状	現状	現状	現状	現状	現状	現状	現状	現状		
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	使用日、時間帯、場所、指導者関係で「選択」できる状況ではない	3	施設、使用希望、時間帯、指導者の有無もあって「選択できる」に至らず	3	これまで同様に施設、使用希望、時間帯、指導者の有無もあって「選択できる」に至らず	3	使用施設や時間帯、指導者等で「都度選択」ではなく登録制での活動	2	施設、使用希望、時間帯、指導者の関係で「多様目選択」体制ではない	2	施設、使用時間、指導者等の関係で「多様目選択」体制ではない	2
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	上記同様に「多世代のニーズ」にはいたっていない	3	上記にも関連するが、「多世代のニーズ」にまで応じることはできていない	3	施設、時間帯、指導者の関係で多世代のニーズに応じることはできていない	3	施設や設備、指導者の関係で多世代ニーズ対応まで至っていない	3	上記同様に「ニーズに応じたメニュー」では組んでいない	2	上記同様に「ニーズに応じたメニュー」とはなっていない	2
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	場所や指導者に制約あり	3	上記同様に「一貫しての活動」には指導者を含めて難しい	2	上記同様に「一貫しての活動」には至っていない	2	上記同様に施設や設備、指導者等の関係で一貫しての活動はできていない	3	上記同様に一貫体制はできていない	2	上記同様に一貫体制はできていない	2
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	クラブ専用の事務室設置済み	5	クラブ専用の事務室等あり	5	共有使用可能な施設・設備は完備していると思われる	5	登録団体が使用できるスペース等は確保できている	5	共有して使用できる設備は有している	5	共有して使用できる部屋は有している	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	あくまでも「コミスク」内での自主運営はできていると考える	5	個々の団体の活動は尊重する中で、クラブとしては自主運営である	5	個々の団体の活動は尊重する中で、クラブとしては自主運営である	5	基本的に各団体による独自活動・運営を尊重	5	コミスクとの連携で自主運営している	5	コミスク所属・連携での自主運営	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	上記同様「コミスク」内での受益者負担の体制はできている	5	各人会費内での自主運営を基本としている	5	クラブ全体としては会員による会費(年1,000円/人)で運営	5	スポーツクラブ(コミスク)として年1,000円/人の会費で運営	5	年会費(¥1,000/人)を基本として	5	年会費(¥1,000/人)徴収して運営	5
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	毎月の定期幹事会にて情報の共有、連携はできている	5	クラブ全体だけでなく、個別での団体や学校との連携・協力あり	5	クラブ全体に加え、個々の団体ごとでも連携・協力がはかられている	5	クラブとして、個別登録団体としてはそれぞれの立場での連携協力あり	5	全体並びに個別での連携・協力はできている	5	既存の団体や学校との連携・協力が図られている	5
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	「コミスク」との連携において可能と考える	5	スポーツクラブ単独ではなく「コミスク」の一員としての自主運営	5	設立に関係するが、スポーツクラブ単独ではなく、コミスクの一員として	5	設立の経緯もあるが、コミスクとの関連において自主運営は可能	5	コミスクとの連携での自主運営	5	コミスクとの連携での自主運営を基本としている	5
広報	クラブの情報を積極的に発信している	毎月の定例幹事会や掲示板を通じて	5	積極的にとまではいかないが、連絡協議会等を通じて	3	積極的にとまではいかないが、コミスクとの関係において	3	積極的にとまではいっていないが、コミスクとの関連において情報は発信済	3	積極的にとまではいかないが、クラブ、コミスク内での情報共有はしている	3	広報や連絡協議会を通じて	3
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	他のスポーツクラブとの連携交流は限られている	2	上記同様	3	連絡協議会等での情報交換によりなされていると思われる	3	従来通り連絡協議会等での連携・交流のみ	3	連絡協議会を通じて	3	連絡協議会を通じて	3
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	特になく、あくまでも「コミスク活動」の延長ととらえられている	2	ベースのコミスク活動の継続ということから特に変化はない	2	もともとの設立がコミスクに関連したものであり、特に変化はないと思う	2	従来のコミスクのスポーツ部門のクラブ化につき、特に変化はなし	2	設立はコミスクがベースにあることから特に変化があったとは思われない	2	コミスクベースでの設立ということもあり特に変化はない	2
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	好影響は不明だが、スポーツに親しみきっかけにはなっている	3	好影響の有無は難しいが、スポーツが身近な意識でとらえられているのでは	3	好影響かどうかの判断は難しいが、スポーツ推進でのマイナスはない	3	クラブ自体では特になく、スポーツ推進・継続にはプラスと判断している	3	好影響についての判断はできないが、マイナス要素はない	3	好影響かどうかは判断できないが、悪影響にはなっていない	3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	設立による変化は感じられないが、継続しての活動に意識があると思う	3	クラブの有無ではなく、コミスクとしての継続活動に意義があると思う	3	コミスクの一員として地域の活性化よりも継続活動に意義があると思う	3	コミスクの延長線上であり、地域の交流や活性化にはプラスでは、...	3	従来からのコミスク活動との関連であり、活性化へのマイナスはない	3	従来からのコミスク活動もあり、マイナス要素はないと思われる	3

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		スポーツクラブ21YAMATE											
年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
クラブ会員		528人		432		407人		430人		319人		452人	
上記会員の内週一回程度の実践者		250人		300		301人		180人		250人		350人	
当該地域の人口		14,143人		11,350		13,687人		11,822人		11,715人		11,785人	
加入率		3.73%		3.82%		2.97%		3.64%		2.72%		3.84%	
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	できているかどうか(9種目)	4	10種目 多いとは言えないかも。	3	とってはいますが、多様性参加は多いとはいえません。	4	新しい種目を増やす努力はしている。	4	12種目が多様目と言えるかどうか。	4	12種目が多様目と言えるかどうか。	4
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	小学校区などの中で・高生の参加が少ない。30歳40歳の加入が難しい	3	中・高生、30、40代の参加が少ない。	3	どのスポーツも参加可能ですが中高生～40代は集まりません	4	参加しにくい世代のニーズを探る努力をしている。各クラブ、門戸を広く開くようお願いしている。	4	取組んでいるつもりだが、もっと増やしたいという思いはある。	4	3世代にわたるクラブもある。	4
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	クラブに見合った活動体制はとれている	3	条件にあったクラブは少ない。	3	活動への呼びかけはしています。指導とは？	3	従来、大人だけのクラブにジュニア部門も設けている。(ソフトテニス・卓球・太鼓)	5	種目による。	4	努力しているが、世代間の問題も無きにしもあらず。	4
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	専用施設があります	5	活動の拠点になっている	5	有効に活用しています	5	今、与えられている場所は自由に使ってもらっている。	5	1部屋を完全に与えられている。整っている。	5	固定した部屋があり、自由に使用できることで満足すべきでは。	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	とっている	5	とっている	5	とっています	5	クラブ備蓄金も考慮に入れてもらうようお願い。祭りの収益など、すべてクラブに還元。	5	全員ボランティアで頑張っている。	5	各クラブ、自主運営できていると思います。	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	ある程度整っている。大きな備品購入は助成金からの支出に頼らざるおえない	4	大きな備品の購入に関しては助成金に頼らざるを得ないが、ほぼ自主運営できている	5	整っていますが、会費がないところもあるのでそのほうが心配です	4	できていると思う。	5	7分通り	4	できている。	5
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	多めに図られている。月1回の委員会を開催。学校関係者、各クラブから幹事が出席し、意見交換等連絡を取り合っている	5	学校との連携はとれている。	5	学校との連携はたいへん良好です	5	学校とは非常に緊密、かつ友好的に運営している。外部のクラブとも現在、進めている案件がある。	5	学校との連携は十分取れている。	5	学校施設をお借りできていることで実現できているのでは。	5
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	自主財源を増やすべく努力している。	5	会員数の少ないクラブや出入りの多いクラブが難しいと感じています	4	今のところバランスはとっているが、将来、備品の老朽化などもあり、会費について一考を要するかもしれない。	5	7分通り	4	会員獲得事業を実施し、見込み実現できていると思う。	5
広報	クラブの情報を積極的に発信している	年2回広報紙を全戸配布のほかランダムにイベントチラシも配布	3	年2回の全戸配布広報紙とイベント毎のチラシを小まめに配布。HPの充実を語る	5	年2回の広報紙発行やイベントチラシを発信しています	5	HPの充実をさらに語り、情報の提供量を増やしたい。現在、進行中！	5	努力している。全戸配布広報誌で活動をPR.	5	広報誌には自信がある。	5
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	地域事業においてはある程度図られている	4	芦屋市SC連絡協議会で情報交換をしている。	5	連絡協議会で意見交換などはできていますが交流まではいかないかも	4	HPにより、他クラブからの問い合わせがある。	5	なかなか難しい。他クラブがYAMATEに入会したケースがある。	4	連絡協議会で情報交換することどまっている。	3
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	最近地域事業の参加者が増加の傾向	4	地域イベントへの参加者が増加したように感じる。	4	広報紙発行後に問い合わせがあつたりしますが変化の実感はありません	3	スポーツクラブに所属する、という概念は多少なりとも広がったか。しかし、まだご存じない方もいるのは残念！	4	スポーツに対する認識はUPしているのでは、と思う。	5	15年を経過し、生活の中のスポーツの位置づけがある程度定まったのでは。	4
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	あまり感じない	2	分からない。	3	好影響かはわかりませんが、地域性にあった活動をしていると思います	3	分かりません。しかし、YAMATEに問い合わせがあるということは、多少波及しているのかも。	3	特になし	3	わかりません。	3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	地域事業においては校区内7自治会が常に協力	4	スポーツへの意識の向上は語れているのではないかと思います。	5	意識をもって活動しています。活動場所が住宅街なので理解をえられないことも・・・	3	そうなっていると思いたい。地域の方が判断される事でしょう。スタッフ、日々努力はしています。皆さん、ボランティアで！	3	活性化は見られたと思う。	4	少なくともスポーツを軸とした企画も皆さんに歓迎されているように思う。	4

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		朝日ヶ丘スポーツクラブ21											
年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
クラブ会員		286人		277		270人		256人		232人		234人	
上記会員の内週一回程度の実践者		88人		61		79人		93人		85人		58人	
当該地域の人口		9,787人		9,845		9,737人		9,585人		9,314人		9,297人	
加入率		2.92%		2.81%		2.77%		2.67%		2.49%		2.54%	
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	出来ている(12種目)	5	できている	5	できている	5	できている	5	特になし	5	10種目のスポーツクラブがある。	5
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	5	中・高生向けは少ない	4	特別メニューはないが、クラブOBが引き続き参加してくれている	4	中高生向けのクラブは無いが、卒業生が時々参加している	4	特になし	5	世代関係なく加入できるサークルがある。	5
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	クラブにみあった活動体制は取れている	5	クラブに見合った活動はできているが、大人のサークルに新人が入りにくい	4	クラブに見合った活動はしている	4	クラブに見あった活動をしている	4	特になし	4	高校生大学生はいないので、その年齢対象の指導者はいない。	3
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	今のところ問題なし	5	有効に活用している	5	有効に活用している	5	有効に活用している	5	特になし	5	専用の部屋がある。	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	自主運営ができています	5	特になし	5	自主運営である。	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	整っている	5	整っている	5	整っている	5	整っている	5	特になし	5	整っている。	5
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	学校とは図れているが、市内の民間スポーツクラブなどとは関係ない	4	学校とは連携しているが、民間とは連携していない	4	学校と連携しているが、民間とは連携していない	4	学校とは連携しているが、民間とは連携していない	4	学校との連携は取れている。他のスポーツ団体との関わりはない。	3	学校とは連携・協力でできている。	3
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	出来ている	5	できている	5	できている	5	できている	5	特になし	5	会員制なので把握できる。	4
広報	クラブの情報を積極的に発信している	年2回のコミスクだよりと造形展で広報、夏祭り、運動会で活動披露	5	今年度よりカラー紙となり、より見やすい工夫をした	5	できている	5	広報誌「コミスクだより」を年2回発行、新しく掲示板をコミスク室横に設置	5	年2回広報誌を地域住民に全戸配布している。	5	広報誌を年2回、運動会や夏祭り、コミスクDAYでPRしている。	4
ネットリク化	他クラブとの連携・交流が図られている	地域事業においてある程度図られている	5	交流試合など子どもサークルは盛んだが、大人のサークルはしていない	4	子どもサークルは市内はもとより、他地域との交流も盛んになってきている	4	子どもサークルは市内、市外などとも交流が盛んなサークルが多い	4	クラブによっては交流戦があったり試合はするが、楽しむだけの高齢者が多いクラブは、他の地域のクラブとの交流はない。	3	クラブによっては交流戦などを行っている。	4
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	設立より年数が経っているので、設立による変化はないが、加入率はやや減少	3	今は特に感じられない	3	特に感じない	3	特に感じない	3	特になし	4	創立当時はあったと思うが、今は分からない。	3
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	あまり感じない	3	あまり感じない	3	わからない	3	試合で勝ち進むと、目標にしているようだ	3	特になし	4	わからない。	3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	地域事業においては常に学校、園、自治会、福祉など協力	5	地域行事の時は、多くの協力者があり大変盛り上がりしている	5	イベント時にはクラブごとに協力があり、コーチ、クラブOBの参加も多い	5	イベント時にはクラブごとの協力があり、コーチやOBの参加も多い	5	クラブ会員が夏まつりやもちつき大会などで協力、参加していて、多くの地域住民がきてくれる。	5	活性化されたと思う。地域行事の要となっている。	5

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		スポーツクラブ21打出浜											
年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
クラブ会員		292人		275		254人		254人		261人		252人	
上記会員の内週一回程度の実践者		24人		105		200人		105人		105人		100人	
当該地域の人口		10,249人		10,206		10,133人		10,090人		10,301人		9,970人	
加入率		2.84%		2.69%		2.51%		2.52%		2.61%		2.53%	
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	できている(13種目)少林寺が廃部	5	13種目	5	14種目(バレーが登録)	5	14種目	5	14種目	5	14種目	5
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	クラブとしては中・高生の登録がみられないが、地域事業に限られているが、中・高生が増えた	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4	地域事業に中高生の参加	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4	昨年と同様、地域事業に中・高生の参加がある。	4
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	クラブにあった活動体制はとれている	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4	クラブに見合った活動体制	4
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	今のところ問題なし、空き教室借用なので児童が増えたときどうするのか	4	今のところ問題なし	4	今のところ問題なし	4	今のところ問題なし	4	今のところ問題なし	5	今のところ問題なし	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	とっている	5	取れている	5	とっている	5	取れている	5	取れている	5	取れている	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	ある程度整っている	4	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担の再考	4	基金なしなので受益者負担の再考	4	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担	5	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担	5	当分は現状維持で整っているが、基金なしの状態、受益者負担	5
団体調整 組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	多に図れている	5	はかれている。	5	多いにはかれている。	5	はかれてる。	5	はかれてる。	5	はかれてる。	5
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	現状昔、基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4	現状は出来る。今後再考。	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4	現状はできるが、先にも書いたが、今後、再考の余地あり。	4
広報	クラブの情報を積極的に発信している	年4回配布	3	地域事業においては、取れている	4		4	地域事業においては、取れている	4	地域事業においては、取れている	4	地域事業においては、取れている	4
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	地域事業においてはある程度図られている	3		3		3	特になし	3	特になし	3	特になし	3
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	最近地域事業の参加者が増加の傾向	3	昨年同様、現状維持は出来ている。	3	地域事業の参加が増えている。	4	昨年同様、現状維持は出来ている。	3	昨年同様、現状維持は出来ている。	3	昨年同様、現状維持は出来ている。	3
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	3	あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	2
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	地域事業においては校区4自治会が常に協力	4	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	4	地域事業・幹事会等校区4自治会が協力大	4	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	4	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	5	地域事業においては、校区4自治会が常に協力	5



「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		岩園スポーツクラブ21							
年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成30年度		
クラブ会員		511人	484	440人	456人	508人	486人		
上記会員の内週一回程度の実践者		440人	410	371人	393人	386人	342人		
当該地域の人口		13,264人	13,318	13,470人	13,404人	13,266人	13,272人		
加入率		3.85%	3.63%	3.27%	3.48%	3.83%	3.66%		
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多様目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	各サークル毎に徴収する会費も低額で、複数のサークルに参加しやすい体制です	4	サークル毎の会費は低額に設定されており、複数サークルに参加しやすい体制です	4	サークル毎の会費が低額設定なので、複数種目に参加しやすい体制です	4	サークル毎の会費が低額設定なので、複数種目に参加しやすい体制です	4
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	子どものサークルは小学校卒業と同時に引退というところも多く、中高生への対応が不十分です	3	子供対象のサークルには、参加対象が小学生までという種目があります	3	子どもの受け入れが小学生迄で中高生に対応できていない種目があります	3	中高生に対応できていないサークルもあります	3
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	サッカー・野球・ミニバスは小学生までが対象で、その後は部活へ	3	上記の理由で、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ	3	上記の理由で、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ	3	上記の理由から、サッカー・野球・ミニバスは小学校卒業後は部活へ	3
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	フルに活用しています	5	フルに活用しています	5	フルに活用しています	5	クラブハウスで練習しなければならぬサークルがあるほどフルに活用しています	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています	5	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営のシステムが出来ています	5	全体運営とは別に、各サークル毎に自主運営システムが出来ています	5	SC21の全体運営と別に、各サークル毎に自主運営システムが出来ています	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	現時点で高価備品の買い替えもふくめると受益者負担率100%ではないが、基金を大切に使い困らないよう対処している	4	現時点で、高価備品の買い替えも含めると受益者負担率100%とは言えないが、基金を大切に使い、困らないよう対処している	4	現時点では高価備品の買い替え資金も含めると受益者負担率100%とは言いが、基金を大切に運用して困らないよう対処しています	4	現時点では高価備品の買い替え資金も含めると受益者負担率100%とは言いが、基金を大切に運用して困らないよう対処しています	4
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	学校との連携はとれていますが、クラブ活動との連携は図られていません	4	学校との連携はとれていますが、クラブ活動との連携は図られていません	4	活動する上で、学校との連携は取れていますが、クラブ活動との連携は取れていません	4	学校との連携、サークル毎に同一種目の他団体との連携は取れていますが、部活との連携はありません	4
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	受益者負担の欄への回答十この先の運営方法を含む長期計画は必要	4	受益者負担の欄への回答十この先の運営方法を含む長期計画は必要	4	受益者負担の欄への回答十この先の長期運営計画を検討中です	4	次年度予算で基金と自主財源がほぼ半々で1000万円となり、この調子で運営して行けたらと考えています	4
広報	クラブの情報を積極的に発信している	地域内に全戸配布。年2回及び随時行事業内を掲示・配布している	5	地域内に全戸配布/年2回の広報紙発行と随時行事業内を掲示・配布しています	5	地域内に全戸配布/年2回の広報紙発行と随時、行事業内を掲示・配布しています	5	地域内に全戸配布/年2回の広報紙(6000部)発行と随時、行事業内を掲示・配布しています	5
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	種目毎にサークル間での交流は図られています	4	クラブ間での情報交換と種目毎のサークル間での交流(合同練習や試合)は図られています	4	クラブ間での情報交換と種目ごとにサークル交流は図られています	4	クラブ間での情報交換と種目ごとにサークル交流(合同練習や試合)は図られています	4
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	SC21設立より、コミスクとしての活動がありましたので、顕著な変化は実感していません	3	SC21設立より、コミスクとしての活動がありましたので、顕著な変化は実感していません	3	SC21設立以前より、コミスクとしての活動実績がありましたので、顕著な変化は実感していません	3	SC21設立以前より、コミスクとしての活動実績があるので、顕著な変化は実感していません	3
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている		3	同上	3	同上	3	同上	3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた		3	同上	3	同上	3	同上	3

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		スポーツクラブ21精道											
年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
クラブ会員		263人		278		244人		240人		244人		213人	
上記会員の内週一回程度の実践者		251人		250		238人		229人		241人		211人	
当該地域の人口		13,671人		13,328		13,434人		13,263人		12,436人		15,382人	
加入率		1.92%		2.09%		1.82%		1.81%		1.96%		1.38%	
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	できている	5	多種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	5	10種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	5	9種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	5	複数の種目で多世代が参加できる環境がある	5	8種目のクラブが活動しており、複数の種目の選択が可能	5
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	小学校校区なので中・高生の参加が少ない	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4	子どもから大人まで参加可能な種目がある	4
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	3	子どもから大人まで参加できる種目は少ない	2	多世代にわたって参加可能なクラブは少ない	2	多世代が一貫して参加できる種目は少ない	2	多世代が一貫して参加できる種目は少ない	2	一貫して指導を受けることができる種目は限られている	2
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	コミスクとの兼用であるが独立したクラブハウスを確保している	5	コミスクとは兼用であるが、クラブハウスを確保している	5	コミスクとは兼用ではあるが、クラブハウスを確保している	5	コミスクと兼用ではあるが、専用のクラブハウスを確保している	5	コミスクとは兼用であるが、専用のクラブハウスを確保している	5	コミスクとは兼用であるが、専用のクラブハウスを確保している	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	自主運営体制となっている	5	自主運営体制となっている	5	自主運営体制となっている	5	自主運営の体制となっている	5	自主運営の体制となっている	5	自主運営の体制ができています	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	ある程度整っている	4	日常の種目活動は受益者負担で行っている	4	日常の活動は受益者負担で行っている	4	日常の活動費は、受益者負担で実施している	4	日常の活動は受益者負担で実施している	4	通常の活動は受益者負担で実施している	5
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	学校等との連携協力はできている	4	PTA、学校から役員に参画があり連携を取る努力はしている	4	PTA、学校から役員が参画しており、連携した活動を目指している	4	PTA、学校からも役員として運営に参加している	4	学校・PTA・コミスクからも役員を選出し、運営の協力を得ている	4	学校・PTAからも役員が参画し、運営を行っている	4
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	問題はない。基金がなくなっても各種目の活動継続は可能	4	種目ごとの会費は会員が負担して事業を実施できている	4	各種目の活動は自主財源で賄われており、収集の確保はできている	4	日常の活動費は受益者負担で運営できており、経理面は安定している	5	日常の活動は受益者負担で行われており、経理面は安定している	5	日常的な活動は受益者負担で賄えている	5
広報	クラブの情報を積極的に発信している	年2回広報紙を配布。事業の周知は学校、幼稚園等にチラシを配布	4	年2回広報紙を発行、オープンスクールは学校を通じてチラシを配布	4	年2回の広報誌の発行、行事関係は学校でチラシを配布し広報している	4	年2回広報紙を発行している。行事は別途チラシを作成し生徒に配布	4	年2回広報誌を発行、行事ごとにチラシを配布している	4	年2回広報誌を発行し、校区に配布している	4
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	連絡協議会に参加	3	連絡協議会に参加	3	連絡協議会に参加している	3	連絡協議会に参加している	3	連絡協議会に参加している	3	連絡協議会に参加している	3
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	設立以前より地域の活動が活発であったため大きな変化はない	2	クラブ設立以前からコミスク活動が行われており、大きな変化はない	2	クラブ設立以前よりコミスクの活動があり、大きな変化はない	2	クラブ設立以前にコミスクが活動しており、大きな変化は見られない	2	クラブ設置以前からコミスク活動があり設立後の変化は少ない	2	スポーツクラブ以前にコミスクの活動があり大きな変化は見られない	2
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	あまり感じない	2	あまり感じない	2	あまり感じない	1	影響は感じられない	1	影響を与える常用ではない	1	影響を与えることはできていない	1
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	スポーツ世代の広がりをめざし活動を行なっている	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、結果に対する評価は難しい	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、十分な結果は得られていない	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、結果に結果についていない	2	スポーツを通じた地域づくりを目指しているが、効果は出していない	2	スポーツを通じた地域づくりを志向しているが、結果に結びついていない	2

「スポーツクラブ21ひょうご」クラブ育成チェック表一覧 H30年度

クラブ名		浜風スポーツクラブ21											
年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度						
クラブ会員		180人	200	200人	200人	200人	200人						
上記会員の内週一回程度の実践者		180人	200	200人	200人	200人	200人						
当該地域の人口		7,260人	7,267	7,181人	7,200人	7,040人	6,951人						
加入率		2.47%	2.75%	2.79%	2.78%	2.84%	2.88%						
要因	細目	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価	現状	評価		
多様性	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	できている(11種目)	5	10種目 14クラブが登録している	5	現在10種類 14クラブが登録している。空手2クラブ フットサル4クラブ	5	昨年同様 10種類 14クラブが登録している。空手2クラブ フットサル4クラブ	5	14種目のスポーツ活動を行っている。	5	10種目のスポーツクラブがある。	5
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組み込んでいる	各クラブの活動の他一般住民対象にスポーツ体験や交流会なども実施している	4		5	上記のほかに 年1回スポーツ交流会で障がい者スポーツやニュースポーツの紹介をしている	5	年1回スポーツ交流会で地域住民向けスポーツの機会を提供	5	幼稚園～高齢者まで対応。	5	幼稚園から高齢者まで幅広く対応している。	5
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	クラブにみあった活動体制はとれている	4		5	幼稚園から後期高齢者まで参加されている。	5	幼児から高齢者まで参加できるスポーツの種類がある	5	特になし	5	一貫して活動できる。	5
クラブハウス	クラブハウスを頻りに利用している	今のところ問題なし	5	会議や、備品(冷蔵庫、PC、コピー機、印刷機等)の使用などに各登録クラブが利用。	5	浜風コミスクと共有のクラブハウスがある。備品も共有	5	浜風コミスクと共有のクラブハウスがある。備品も共有している。	5	コミスクと併用。グラウンドに近く便利。	5	浜風コミスクと共同で使用。	5
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	とっている	5	自主運営をしている。	5	自主的に運営できている。	5	自主的に運営できている	5	まだ助成金は残っているが、自主運営は可能。	3	自主的に運営できている。(困ったとき学校や事務局に相談している。)	5
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	整っている	4	各登録クラブの運営はOK。クラブハウス・備品などの維持には将来会費の値上げが必要。	5	印刷機など備品の購入修理に備えて、助成金がなくなる前に値上げの検討が必要。	4	交流会に参加費徴収。備品の購入修理に備えて会費の値上げは要検討。	4	整っている。	5	運営のみは可能。まだ助成金が残っているので、高額備品はそこから支出。	4
団体調整組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	多に図られている	5	自治会、学校、老人会などの地域団体との連携、協力は図られている。	5	学校、地域団体(コミスク、芦屋浜自治連合会など)との連携はとれている。	5	学校、地域団体(コミスク 芦屋浜自治連合会など)とは連携がとれている。	5	学校とは連携。	5	体育協会、学校と連携している。	5
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	基金が終わるまでに計算できるように収入増を画策中	4	できる。	5	印刷機などの大型備品の管理以外は 十分自主運営できる。	4	物置、印刷機など大型備品の管理以外は、十分自主運営できる	5	できる。	5	平常の活動は自主運営可能。今後印刷機などの高額備品の修理、買換えが課題。	3
広報	クラブの情報を積極的に発信している	広報紙年2回 他、ちらし、ポスターなどで発信している	5	年2回広報発行(全戸配布)。行事毎にポスター掲示、ちらし(学校を通じて)配布。	5	年2回の広報を浜風小学校区の全戸に配布。行事ごとにポスター掲示	5	広報紙(年2回)を全戸配布。行事ごとにちらしを小学校児童に配布、ポスター掲示。	5	年2回の広報誌、行事ごとのちらし、ポスター	5	ポスターを地域に掲示し、チラシ、広報誌を配布等で発信している。	5
ネットリク化	他クラブとの連携・交流が図られている	地域事業においてはある程度図れている	4	推進委員会への参加。その他必要に応じて。	5	芦屋市スポーツクラブ21連絡協議会の場で情報交換	5	芦屋市スポーツクラブ21連絡協議会の場で情報交換。	5	連絡協議会で情報交換。	4	推進委員会などで情報交換。	5
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	最近では自治会と協働して活動することが多い	3	よくわからない。	3	あまり変わりはない	3	よくわからない。広報紙やネットで見て、住民から加入の問合せはある。	3	特になし	3	時折、広報誌を見て問い合わせがある。スポーツクラブほどの程度住民に浸透しているかは分からない。	4
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	あまり感じない	3	よくわからない。	3	あまり変わりはない	3	よくわからない。近隣のクラブとは何をさしているのか?	3	特になし	3	よく分からない。	3
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	設立による変化はあまり感じない	3	助成金のおかげで地域にむけた行事も充実した。	5	あまり変わりはない	3	設立時は活性化したと思う。昨年との比較では、あまり変わらない。	3	特になし	3	スポーツクラブ主催の地域に向けた行事にはたくさんの住民が参加される。	5

「スポーツクラブ21ひょうご」

芦屋市・阪神・兵庫県の連絡協議会の活動（事業）について

## 平成29年度

日程	全県連絡協議会
6月9日	第1回全県連絡協議会理事会 (1)平成28年度全県連絡協議会決算(案)及び監査報告 (2)平成29年度「スポーツクラブ21ひょうご」取組(案) (3)平成29年度全県連絡協議会収支予算(案) (4)全県スポーツサミットについて (5)会費の納入について (6)全県連絡協議会特別会計の活用について
7月9日	全県スポーツ大会 ソフトバレーボール大会(多可町)
9月9日	第2回全県連絡協議会理事会 (1)平成29年度全県スポーツサミットについて (2)平成29年度全県スポーツ大会について (3)全県連絡協議会と兵庫体育・スポーツ科学学会との連携協定について (4)「スポーツクラブ21ひょうご」全県連絡協議会の規約改正について (5)全県連絡協議会特別会計の活用について (6)近畿ブロッククラブネットワークアクション2017について (7)近畿ブロック連絡協議会の事業について
9月9日	ステップアップ研修 (1)滋賀県「湖南市ちよいスポクラブ」の運営事例に学ぶ (2)京都府連絡協議会の取組に学ぶ
9月24日	全県スポーツ大会 5×5ピンゴ大会(宝塚市)
10月12日	全県スポーツ大会 グラウンド・ゴルフ交流大会(洲本市)
11月4日	全県スポーツ大会 グラウンド・ゴルフ交流大会(神河町)
11月25日	近畿ブロッククラブネットワークアクション2017 (1)基調講演「改めて『地域』スポーツを考える」 (2)アプローチ別講義
11月26日	全県スポーツ大会 小学生バレーボール大会(加古川市)
12月3日	全県スポーツ大会 ソフトバレーボール大会(養父市)
12月9日	「スポーツクラブ21ひょうご」全県スポーツサミット
12月9日 ～10日	全県スポーツ大会 ミニバスケットボール大会(加古川市)
1月20日	全県スポーツ大会 囲碁ボール大会(丹波市)
1月20日	全県スポーツ大会 あじさいロードレース大会(神戸市)

3月3日	第3回全県連絡協議会理事会 (1)平成29年度全県交流事業報告及び平成29年度収支決算(見込み) (2)平成30年度取組(案)及び平成30年度収支予算(素案) (3)平成30年度全県スポーツサミットについて (4)全県連絡協議会と兵庫体育・スポーツ科学学会との連携協定について (5)平成30年度全県連絡協議会役員改正と特別会計の活用について (6)平成29年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会総会 (7)平成29年度クラブアドバイザー派遣事業実績報告 (8)Tシャツ・ポロシャツ販売について (9)平成30年度「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業 (10)ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業について
------	---

日程	阪神地区連絡協議会
6月28日	第1回阪神地区連絡協議会 (1)平成29年度阪神地区連絡協議会について (2)平成29年度全県スポーツ大会について (3)平成29年度阪神地区交流フェスティバルについて (4)平成29年度全県連絡協議会(6月9日)の報告 (5)情報交換
9月27日	第2回阪神地区連絡協議会 (1)平成29年度第2回全県連絡協議会(9/9)の報告 (2)平成29年度全県スポーツ大会「5×5(ゴーゴー)ピンゴ大会」について (3)平成29年度阪神地区交流フェスティバルについて (4)平成29年度全県スポーツサミットについて (5)情報交換
12月9日	「スポーツクラブ21ひょうご」2017 阪神地区交流フェスティバル in Amagasaki (1)ふうせんバレーボールを楽しもう!! (2)親子で楽しむスポーツフェスティバル
3月5日	第3回阪神地区連絡協議会 (1)平成29年度第3回全県連絡協議会(3/2)の報告 (2)平成29年度阪神地区交流フェスティバルIn Amagasaki報告 (3)平成29年度会計監査報告 (4)平成30年度全県スポーツ大会について(川西市) (5)平成30年度全県スポーツサミット交流会について(尼崎市) (6)平成30年度阪神地区交流フェスティバルについて(芦屋市) (7)情報交換

## 平成29年度

日程	芦屋市連絡協議会
4月～5月	各スポーツクラブ21にて総会
6月27日	平成28年度の基金に係る書類を県教委へ提出
7月12日	第1回芦屋市連絡協議会 (1)SC21ひょうご芦屋市連絡協議会の役員変更等について (2)平成29年度SC21阪神地区連絡協議会(第1回)について(報告) (3)全県スポーツ大会「5×5ピンゴ大会」について (4)平成29年度「SC21ひょうご」芦屋市推進委員会について (5)連絡協議会主催事業(仮)について (6)SC21ひょうご阪神地区交流フェスティバル in Ashiya(仮称)について (7)情報交換
8月2日	第1回芦屋市連絡協議会三役会 (1)全県スポーツ大会「5×5ピンゴ大会」の参加チームについて (2)平成29年度阪神地区交流フェスティバルin Amagasakiについて (3)平成30年度阪神地区交流フェスティバルin Ashiya(仮)について
10月6日	第2回芦屋市連絡協議会 (1)平成29年度SC21阪神地区連絡協議会(第2回)について(報告) (2)全県スポーツ大会「5×5ピンゴ大会」について(報告) (3)平成29年度SC21ひょうご芦屋市推進委員会について(報告) (4)平成29年度阪神地区交流フェスティバルin Amagasakiについて (5)平成30年度阪神地区交流フェスティバルin Ashiya(仮)について (6)「2018あしやスポーツフォーラム」について (7)平成29年度全県スポーツサミット及び近畿ブロッククラブネットワークアクション2017について (8)情報交換
3月9日	第3回芦屋市連絡協議会 (1)会計決算報告について (2)平成30年度芦屋市連絡協議会役員について (3)平成30年度阪神地区交流フェスティバルin Ashiya(仮称)について (4)平成29年度阪神地区交流フェスティバルin Amagasakiについて(報告) (5)平成29年度SC21阪神地区連絡協議会(第3回)について(報告) (6)連絡協議会クラブアドバイザー派遣事業について (7)情報交換

日程	推進委員会及び実務者会議等
4月25日	第1回市町担当者連絡協議会 (1)推進状況及び平成29年度事業について (2)補助金事務に関する留意点等 (3)統合等に関する調査について (4)ひょうご広域スポーツセンター事業について (5)研修会「『スポーツクラブ21ひょうご』の第2ステージ～行政の視点から～」
8月29日	芦屋市推進委員会 (1)平成28年度事業・決算報告及び平成29年度事業計画・予算について (2)クラブ育成についてチェック表及び運営上の課題・悩みや将来の構想等についての意見交換 (3)芦屋市・阪神・兵庫県の連絡協議会の活動報告
9月25日	第2回市町担当者連絡協議会 (1)「スポーツクラブ21ひょうご」の統合等に関する調査結果等について (2)研修会「市町連絡協議会のマネジメント」(仮)
3月9日	担当者会 (1)「ワールドマスターズゲームズ2021関西」参加促進事業説明 (2)その他

## 平成30年度

日程	全県連絡協議会
6月1日	第1回全県連絡協議会理事会 (1)平成29年度全県連絡協議会決算(案)及び監査報告 (2)平成30年度・平成31年度役員について (3)平成30年度「スポーツクラブ21ひょうご」取組(案) (4)平成30年度全県連絡協議会収支予算(案) (5)全県スポーツサミットについて (6)全県連絡協議会と兵庫体育・スポーツ科学学会との連携協定について (7)会費の納入について (8)全県連絡協議会特別会計の活用について
8月19日	ワールドマスターズゲームズ2021関西1000日前イベント

日程	阪神地区連絡協議会
6月19日	第1回阪神地区連絡協議会 (1)平成30年度阪神地区連絡協議会について (2)平成30年度全県スポーツ大会について (3)平成30年度阪神地区交流フェスティバルについて (4)クラブアドバイザー派遣事業について (5)情報交換

日程	芦屋市連絡協議会
4月～5月	各スポーツクラブ21にて総会
4月20日	第1回芦屋市連絡協議会三役会 (1)阪神地区交流フェスティバル作業部会運営委員長について (2)阪神地区交流フェスティバルin Ashiya要項(素案)の作成について (3)阪神地区交流フェスティバル予算(素案)の作成について (4)研修会(チャレンジ・ザ・ゲーム体験講習会)及び第1回作業部会の開催について (5)今後のスケジュールについて
6月25日	平成29年度の基金に係る書類を県教委へ提出
7月11日	第1回芦屋市連絡協議会 (1)スポーツクラブ21ひょうご芦屋市連絡協議会の役員変更について (2)平成30年度「スポーツクラブ21ひょうご」阪神地区連絡協議会(第1回)について(報告) (3)平成30年度「スポーツクラブ21ひょうご」阪神地区交流フェスティバル in Ashiyaについて (4)平成30年度「スポーツクラブ21ひょうご」芦屋市推進委員会について (5)「ワールドマスターズゲームズ2021関西」参加促進事業について (6)情報交換

日程	推進委員会及び実務者会議等
4月25日	第1回市町担当者連絡協議会 (1)推進状況及び平成30年度事業について (2)補助金事務に関する留意点等 (3)ガイドラインの改訂進捗状況について (4)ワールドマスターズゲームズ2021関西への参加促進について (5)「地域(市町)における障がい者スポーツの振興ガイドランス」事業説明 (6)研修会「地域における『スポーツクラブ21ひょうご』の今後のあり方について」
8月30日	芦屋市推進委員会